

## ◆ 講習概要【選択領域講習】

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                  | 講習の概要・注意事項  | 担当講師                                       | 講習会場(開催地)                       | 講習日程                         | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)                       | 受講料    | 募集定員 |
|----|----------------------|---|--|---------------------------------|------------------------------|------|-------------------------------------|--------|------|
| 1  | 【選択】乳幼児期の言語・認知・社会性   | <p>本講習では、乳幼児期の発達について概説します。基礎的な知識から最新の知見まで扱い、乳幼児の発達に興味を持つ方全般に対し、わかりやすく説明致します。</p> <p>前半では、言語と認知の発達についてレクチャーします。音声の変化や語彙の獲得、文字の読み書き(リテラシー)、認知の起源や発達に関する伝統的な理論を説明した後に、近年の新しい理論(文化学習と認知)を紹介致します。</p> <p>後半では、社会性の発達についてレクチャーします。乳幼児期の他者理解、道徳性、愛着などについて、現代社会の子どもの問題を関連づけながら進めていきます。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>  | 水口 崇<br>(教育学系准教授)                          | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市) | 7月6日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 幼稚園・小学校の教諭                          | 6,000円 | 50人  |
| 2  | 【選択】生活の中のテキスタイル      | <p>我々の身の回りには、さまざまな繊維が使用されています。本講習では、日本でただ一つのテキスタイル工学研究の繊維学部の研究者が、衣服やインテリアなど身近な繊維製品を取り上げながら、繊維材料、繊維工学の基礎について概説します。また、繊維に関わる最近の話題や最新の技術を紹介することで、さまざまな視点からテキスタイルを理解してもらうことをねらいとしています。加えて、長野県とゆかりの深い「シルク」に関する繊維工学的な話題もご紹介したいと思います。本講習を通して、テキスタイルに関する内容を、理科教育・工芸教育・家庭科教育・工業教育等の教育実践に活用していただけることを期待しています。</p> <p>参考書籍:「はじめて学ぶ繊維」信州大学繊維学部編、日刊工業新聞社(2011)</p> <p>注1)講習当日に参考資料を配布しますが、ノートや筆記用具はご持参ください。<br/>注2)参考書籍は購入の必要はありません。</p> | 木村 裕和<br>(繊維学系教授)<br><br>森川 英明<br>(繊維学系教授) | 上田キャンパス<br>繊維学部講義室<br>(上田市)     | 7月6日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(理科・工芸・家庭・工業) | 6,000円 | 50人  |
| 3  | 【選択】体験しよう!英語多読の理論と実践 | <p>多読(Extensive Reading)とは、学習者が自分にとって比較的易しい英語の本を楽しみながらたくさん読むことです。多読の目的は、読書スピードを上げ、読解力を向上させ、読書を容易にすることです。直接的な英語学習ではなく、たくさん読んで英語を体で吸収し結果的に英語力が向上する方法です。多読を行う事により、学習者は英語に対する不安感を減少・払拭させ、自信を持つようになります。本講習では、多読の意義・必要性・指導方法・多読図書の管理方法について解説し、さらに実践例を紹介しながら英語力向上を促す根拠を理論的に解説します。本講習は簡単な英語を使用し、多読の実践も行いますので、英語力向上の良い機会にもなります。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>  | ブライアリー マーク アラン<br>(全学教育機構外国語准教授)           | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>(松本市)   | 7月6日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 中学校・高等学校の教諭(英語)                     | 6,000円 | 50人  |

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名  | 講習の概要・注意事項  | 担当講師                  | 講習会場(開催地)                           | 講習日程                         | 対象職種       | 主な受講対象者領域(参考)                              | 受講料    | 募集定員 |
|----|--|---|-----------------------|-------------------------------------|------------------------------|------------|--|--------|------|
| 4  | 【選択】身の回りにある化学を発見しよう                                | <p>高校までに習う化学は化学的研究を行う上で必要不可欠な知識を得るという点において極めて重要です。しかし日常生活を続けていく上で、あまりその化学的知識との関連について詳しく教えられてこなかった事が多いのが現実です。実際には日常生活で化学の世話にならない日は全くないと言ってよいでしょう。そこで、本講習では日常生活で利用、体験している事柄で化学と深く関連している事柄をピックアップしてそれを解説することによって、化学をより身近なものとして実感し、各自の今後の教育に活かしていただくことが狙いです。また、本講習では実験として太陽電池を作成します。実験を通してエネルギー問題について考えるきっかけにさせていただきます。</p> <p>注1)色素を使いますので、汚れてもよい服装でご参加ください。また、安全メガネをお持ちの方はご持参下さい。<br/>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>                       | 勝木 明夫<br>(総合人間科学系教授)  | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br><br>(松本市)   | 7月6日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(理科)                 | 6,000円 | 40人  |
| 5  | 【選択】消費者教育にどう取り組むか～はじめての消費者教育～(A)                   | <p>「かしこい」消費者を育成するという視点から、さまざまな教育活動における消費者教育の在り方を探ります。まず、消費者問題に関心を持っていただくことを目的として、具体的な教育活動について経済教育を専門とする田村が、シミュレーションゲームなどの体験活動を通して、指導方法・教材開発について提案します。その後、行政書士兼ファイナンシャルプランナーとして様々な消費者トラブルについて相談・解決を担当している方をゲストティーチャーとしてお招きし、現在の悪質商法の手口や対処法を具体的な事例をもとにお話しいたします。</p> <p>注1)「【選択】消費者教育にどう取り組むか～はじめての消費者教育～(B)」と同じ内容のため、重複して受講できません。<br/>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>   | 田村 徳至<br>(総合人間科学系准教授) | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br><br>(松本市)   | 7月6日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・高等学校の教諭                            | 6,000円 | 50人  |
| 6  | 【選択】アジア・アフリカの子どもたちの生きる力を育むー子どもたちの健康と環境を守る取り組みの最前線ー | <p>本講習では、1)アジア・アフリカの教育・医療現場での国際協力活動や研究等で感じた子どもたちの生きる力、2)子どもたちの健康と環境を守るための取組を紹介し、また、3)ワークショップやグループ討議を通して、子どもたちの健康と環境の問題を取り巻く社会の現状を理解します。</p> <p>主な対象者は、養護教諭、幼稚園教諭、健康、環境、国際理解教育に関心のある教員を想定しています。</p> <p>講習では、①日本の子どもたちの健康や環境の問題の共有(ワークショップ)、②世界の子どもたちの健康と環境の問題と、それを改善するための取組(講義)、③アフリカの子どもたちの健康と環境(講義)、④アジアの子どもたちの健康と環境(講義)、⑤何故、子どもたちが死んでしまうのか?(グループ討議)、⑥子どもたちの健康、環境の問題の改善のために(ワークショップ)を行う予定です。</p>   | 友川 幸<br>(教育学系准教授)     | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br><br>(長野市) | 7月7日(日)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭<br>養護教諭 | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(健康教育・環境教育)、養護教諭 | 6,000円 | 50人  |
| 7  | 【選択】学力観を問い直す:国語科の資質・能力と見方・考え方                      | <p>新しい学習指導要領で示された「資質・能力」とはどのような学力でしょうか。これまでの学力観とはどこが同じでどこが違うのでしょうか。また、各教科で明示された「見方・考え方」、国語科教育の場合は何をどのように見、考えることが求められるのでしょうか。こうした問いについて、ワークショップを交えながら解説し、新しい教育課程における講習づくりの在り方を具体的に展望します。講習は以下の構成で進めます。</p> <p>1:資質・能力とは何か。<br/>2:知識及び技能はどのように身につけることが求められているか。<br/>3:思考力・判断力・表現力等とはどのような学力なのか。評価はどうするのか。<br/>4:学びに向かう力・人間性等の中身は何か。<br/>5:国語科の見方・考え方とは何か。</p> <p>ワークショップは、学校種を越えたチーム演習を中心に進めます。<br/>講習が終わった頃、新しい学習指導要領が頭に入っている自分に気づかれるはずです。</p> | 藤森 裕治<br>(教育学系教授)     | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br><br>(長野市) | 7月7日(日)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭(国語)                    | 6,000円 | 50人  |



【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                                | 講習の概要・注意事項   | 担当講師                 | 講習会場(開催地)                                  | 講習日程                              | 対象職種       | 主な受講対象者領域(参考)  | 受講料    | 募集定員 |
|----|------------------------------------|--|----------------------|--|-----------------------------------|------------|--|--------|------|
| 8  | 【選択】キャンプ・登山やスキーにおけるインクルーシブ教育の実践(A) | <p>昨今、インクルーシブ教育システムの構築が求められています。特に、野外におけるインクルーシブな学習は、障害のある子どもが参加することでしか生まれない貴重な学びの機会となっており、専門的な知識や機材を持つ専門家と連携することでその効果をさらに高めることができます。本講習では、一般社団法人野外教育研究所の上席研究員・技術指導官をお招きし、野外におけるインクルーシブ教育実践校の事例から、多様なニーズのある子どもたちへの配慮について考えます。また、アウトドア用車いすやデュアルスキー(着座式スキー)の体験を通して、実現可能な野外でのインクルーシブ教育プラン作りを行います。</p> <p>注1)本講習では、講義及び実習を行います。実習では、アウトドア用車いすの試乗や操作をしていただきます。体育館履き、運動靴のご準備、動きやすい服装でのご参加をお願いします。更衣室の用意もごさいます。<br/>注2)「【選択】キャンプ・登山やスキーにおけるインクルーシブ教育の実践(B)」と同じ内容のため、重複して受講できません。<br/>注3)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>                                    | 加藤 彩乃<br>(総合人間科学系助教) | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>及び体育館<br><br>(松本市) | 7月7日(日)<br><br>9:00-17:00<br>6時間  | 教諭<br>養護教諭 | 幼稚園・小学校・<br>中学校・高等学校<br>・特別支援学校の<br>教諭(特別支援<br>・保健体育)、養<br>護教諭 | 6,000円 | 30人  |
| 9  | 【選択】鑑賞教育を学ぶ                        | <p>本講習では、読解力育成・文化伝統理解・国際理解等含む鑑賞領域(B鑑賞)と、鑑賞指導を実際に行う上で有益かつ実現可能な諸種メソッドを計画的に学びます(下表参照)。講義は、多様な諸作をスライドで見ながら進め、第5回では、実際に絵の登場人物を演じます。主な受講対象者は、図画工作科で鑑賞教育を充実させたいと考える小学校教諭、鑑賞教育に関心を持つ中学校・高等学校の美術科教諭を想定しています。<br/>[第1回] 自由討議と平成29年版『小／中学学習指導要領』第7節図画工作／第6節美術「B鑑賞」の要点[参考]『高学習指導要領』第7節芸術(美術ⅠⅡⅢ)<br/>[第2回] 鑑賞指導メソッドⅠ ‘形’や‘主題’で繋ぐ鑑賞<br/>[第3回] 鑑賞指導メソッドⅡ 類似を探す比較鑑賞<br/>[第4回] 鑑賞指導メソッドⅢ 段階型鑑賞法(含む対話・読解)<br/>[第5回] 鑑賞指導メソッドⅣ ロール・プレイ(体で味わう鑑賞)<br/>[第6回] まとめと試験</p>  | 岡田 匡史<br>(教育学系教授)    | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br><br>(長野市)        | 7月13日(土)<br><br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(美術)                                    | 6,000円 | 50人  |
| 10 | 【選択】地層の観察と記録の取り方                   | <p>本講習は、地学の中でも地質学の内容を対象とします。地層を観察して、それらのでき方を考察できるようになることと、地層を記録することができるようになることを目標にします。主な受講対象者は理科(地学)に関する指導の充実を図ろうとする教員、また関連領域を担当する教員を想定しています。<br/>1. 地層と地形のでき方(室内)地層と地形の関わりと観察する際に注目すべき点について解説します。<br/>2. 地層の観察と記録の取り方(野外)長野市戸隠で地層と地形を観察し、記載の方法を学びます。<br/>3. 長野周辺の大地の生い立ち(室内:博物館)戸隠地質化石博物館の見学をとおして、地層や化石、地形の意義を考えます。<br/>4. 試験(室内)1～3をふまえた内容で筆記試験を行います。</p> <p>注1)天候などにより内容、順序の変更もあり得ます。バスでの移動時間があるため、講習時間が6時間を超える可能性があります。野外では足場の悪い場所もあるので、歩きやすい靴、服装でご参加ください。必ず帽子をかぶってください。少雨決行、雨具持参。ハンマー、クリノメーターは講師が準備します。<br/>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p> | 竹下 欣宏<br>(教育学系准教授)   | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br><br>(長野市)        | 7月13日(土)<br><br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(理科)                                    | 6,000円 | 35人  |

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                              | 講習の概要・注意事項   | 担当講師  | 講習会場(開催地)                              | 講習日程                          | 対象職種       | 主な受講対象者領域(参考)                | 受講料    | 募集定員 |
|----|----------------------------------|--|---|--|-------------------------------|------------|------------------------------|--------|------|
| 11 | 【選択】場面緘黙の子どもの心理と支援               | <p>場面緘黙に関する基礎的理解、教育・心理現場における支援等の学習をとおして、実際場面の子どもの理解と指導に活用できることを目標にした講習です。そのため、受講対象者は通常学級や特別支援学級において、場面緘黙の指導の充実を図ろうとする教員、また保護者や外部機関との連携・調整を担当するコーディネーターの教員です。また保健室等でケアに当たる教員の受入れも可能です。</p> <p>講習は講義のみならず、グループ討議、演習方式を交えた構成となります。</p> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面緘黙の基礎—疫学・成因論・予後を中心に—</li> <li>・学校で導入できる工夫—合理的配慮の視点から—</li> <li>・専門家と連携した支援—行動療法的アプローチを中心に—</li> </ul> <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材・玩具の使用をとおした活動参加や対人関係の支援</li> </ul> | 奥村 真衣子<br>(教育学系助教)  | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市)        | 7月13日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭<br>養護教諭 | 幼稚園・小学校・特別支援学校の教諭(特別支援)、養護教諭 | 6,000円 | 50人  |
| 12 | 【選択】実験で学ぶ材料の科学と技術                | <p>環境負荷を低減する材料の科学と技術を通して、自然や社会を多面的に捉え、それに技術が及ぼす影響を理解し講義と実験を行います。信州大学繊維学部化学・材料学科ファイバー材料工学コースで行なっている持続可能な社会を達成するための挑戦(例えば人工光合成・生体模倣・電池・バイオマスなど)を紹介します。また、ものづくりの一端を体験していただくための、高分子合成に関する実験も行う予定です。</p> <p>注)持ち物・注意点:実験の際に保護メガネ等があれば持参ください。このために購入する必要はありません。</p>  | 木村 睦<br>(繊維学系教授)<br>村上 泰<br>(繊維学系教授)<br>宇佐美 久尚<br>(繊維学系教授)<br>高橋 伸英<br>(繊維学系教授)<br>杉本 涉<br>(繊維学系教授)<br>森 正悟<br>(繊維学系教授) | 上田キャンパス<br>繊維学部講義室<br>(上田市)            | 7月13日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・高等学校の教諭(理科)          | 6,000円 | 50人  |
| 13 | 【選択】フィールドワークで学ぶ「きのこの役割」と「私たちの生活」 | <p>「きのこ」は私たちの食生活に欠かせない素材として馴染み深いものです。しかし森林生態系では、「きのこ」はとても多様な種が存在し、それらは分解者としての役割を担っています。一方「きのこ」の一部は、老齢の街路樹や庭園樹を衰弱させ、倒壊させるリスクをもたらすこともあります。本講習では、「きのこ」の基本的な生態を座学で学んだ後、農学部構内の演習林を利用したフィールドワークで、「きのこ」の生態観察の方法を体験的に習得してもらいます。その上で、森林生態系の分解者としての「きのこ」・わたしたちの生活の素材としての「きのこ」・庭園樹など樹木の一生を左右する存在としての「きのこ」について考えていきます。</p> <p>注1)フィールドワークに適した服装が必要です。特に、帽子と首に巻くタオル・熱中症対策のため飲料水・雨具(小雨決行)の準備をお願いします。<br/>注2)フィールドワークが困難な天候の場合、標本を用いて実施します。</p>   | 山田 明義<br>(農学系准教授)<br>城田 徹央<br>(農学系助教)   | 伊那キャンパス<br>農学部講義室<br>(上伊那郡南箕輪村)        | 7月20日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・高等学校の教諭(理科・農業・環境教育)  | 6,000円 | 40人  |
| 14 | 【選択】剣道授業における指導法                  | <p>本講習は、主な対象として、体育授業にて剣道を指導し、ご自身で専門的に剣道を実施された経験のない方を想定しています。午前は、座学にて「伝統的な考え方・行動の仕方(礼法)」「剣道における傷害」「剣道具の歴史と作り方」について学びます。午後は、体育館にて、「礼法の実践」「剣道におけるウォーミングアップ」「剣道具の装脱着」「初心者に対する打突動作の効果的な指導法」を中心とした内容について、実技を通して学びます。評価については、午前は筆記、午後は実技にて実施します。</p> <p>注)筆記用具と運動実施に適切な服装(ジャージ等)を用意してください。剣道具と竹刀についてはこちらで準備しますが、ご自身のものをお持ちいただいても結構です。<br/>なお、本講習では剣道の実技を行います。運動の実施が困難な方は、ご注意ください。</p>   | 折口 築<br>(元信州大学教授)<br>廣野 準一<br>(総合人間科学系講師)   | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>及び体育館<br>(松本市) | 7月20日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 中学校・高等学校の教諭(保健体育)            | 6,000円 | 30人  |



【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                               | 講習の概要・注意事項   | 担当講師                                       | 講習会場(開催地)                              | 講習日程                          | 対象職種       | 主な受講対象者領域(参考)                 | 受講料    | 募集定員 |
|----|-----------------------------------|--|--|--|-------------------------------|------------|-------------------------------|--------|------|
| 15 | 【選択】社会を生き抜く力を育てる～はじめての金融・経済教育～(A) | 田村(教育学者 金融・消費者教育)が、学校における金融教育、経済教育の必要性など理論的な解説を丁寧に行ったうえで、教育現場で役立つ効果的な教育方法・教材開発を考察します。午前中は主に、金融教育・経済教育に関する理論的な内容を解説します。午後は、ゲストティーチャーから小・中・高等学校用に開発されたシミュレーション教材をもとにグループワーク(演習)を行うことで実際の授業方法を体得することを目指します。<br>注1)「【選択】社会を生き抜く力を育てる～はじめての金融・経済教育～(B)」と同じ内容のため、重複して受講できません。<br>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。   | 田村 徳至<br>(総合人間科学系准教授)                      | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>(松本市)          | 7月20日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・高等学校の教諭               | 6,000円 | 50人  |
| 16 | 【選択】情報メディアの心理学                    | 現代の情報社会において、我々は、インターネットやテレビ・ゲームなど、さまざまな情報メディアを利用しています。これらの情報メディアは、我々の心理や行動にさまざまな影響を及ぼします。本講習では、インターネットやテレビ・ゲーム利用の心理社会的影響(特に、子供に対する影響)について概説していきます。具体的には、テレビやゲーム利用が子供の認知能力・攻撃性・社会性に及ぼす影響、インターネットの特徴とトラブル事例(いじめ・依存を含む)、インターネットと子育て、といった内容を予定しています。<br>注1)講習では、電子機器類、アプリケーションやサービス(例えば、ニンテンドー3DS、Twitter、LINE、Youtubeなど)についての説明は行いません。<br>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。   | 佐藤 広英<br>(人文科学系准教授)                        | 松本キャンパス<br>人文学部講義室<br>(松本市)            | 7月27日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(社会・情報) | 6,000円 | 100人 |
| 17 | 【選択】中国語で漢詩を読む                     | 漢詩を書き下し文によって朗読すると、そこには独特の味わいがあると思います。それを一種の自由詩と位置付けて、和歌や俳句のような定型詩との相補性を重視する研究者もいます。いっぽう、本来の中国語の発音で読んでみると、また別の興味が感じられることでしょう。たとえば韻を踏んでいることは、中国語で読んだ方がよくわかるはずですが、しかも中国語の発音は、じつは難しいものではありません。もちろん作品の内容等についても解説いたします。とりあげる作品は、「春暁」(春眠暁を覚えず……)や、「春望」(国破れて山河在り……)など、国語教材としてよく用いられる漢詩から選ぶ予定ですので、先生方の今後の授業展開に様々な形で役立てて頂ければ幸いです。当日は資料をコピー配布して授業を実施します。<br>注1)漢和辞典を持参されると、より効果的な学習が可能となるはず(電子辞書も可)。<br>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。 | 氏岡 真士<br>(人文科学系教授)<br>伊藤 加奈子<br>(人文科学系准教授) | 松本キャンパス<br>人文学部講義室<br>(松本市)            | 7月27日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 中学校・高等学校の教諭(国語)               | 6,000円 | 50人  |
| 18 | 【選択】ウォーミングアップ再考                   | 本講習では、午前は教室にて「初歩的な解剖学」「ウォーミングアップに関連する研究成果の概要」「ウォーミングアップ時の留意点」について学びます。午後は、体育館にて、「ウォーミングアップの実践」として実技を通して学びます。また、グループワークを通して、現場での実情について情報交換を行います。テストは、午前と午後の両方で行います。<br>注)筆記用具と運動実施に適切な服装(ジャージ等)、室内用運動靴、必要に応じて飲料とタオルを用意してください。資料はこちらで準備します。<br>なお、本講習では実技を行います。運動の実施が困難な方は、ご注意ください。  | 廣野 準一<br>(総合人間科学系講師)                       | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>及び体育館<br>(松本市) | 7月27日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭<br>養護教諭 | 小学校・中学校・高等学校の教諭(保健体育)、養護教諭    | 6,000円 | 30人  |

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名  | 講習の概要・注意事項  | 担当講師  | 講習会場(開催地)                                  | 講習日程                                      | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)  | 受講料    | 募集定員 |
|----|--|---|---|--|---|------|--|--------|------|
| 19 | 【選択】グリム童話のルーツを探る                           | <p>今も世界中で読み継がれている『グリム童話集』に収められている童話「シンデレラ」(時間があれば「眠れる森の美女」も)を取り上げ、アメリカのディズニー「シンデレラ」、ドイツのグリム「灰かぶり」、フランスのペロー「サンドリオン」、イタリアのバジレ「シンデレラ猫」、日本の「粟福(糠福)」、中国の「葉限」等、さまざまな類話を比較しながら、そのルーツを現代から近代、中世、古代へと辿り、童話と民話と神話の違い、神話から民話へ民話から童話への移行と背景社会の変化との関連について考察し、童話や民話や神話が何万キロという空間と何千年という時を超えて現代に語り継がれてきた秘密を探り、伝統の意義と文化創造の関係を解き明かし、伝承素材を教育現場で教える際に重要なことを考えます。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p> | <p>延 鎮淑<br/>(全学教育機構外国語准教授)</p> <p>株丹 洋一<br/>(元信州大学教授)</p> | <p>松本キャンパス<br/>全学教育機構講義室</p> <p>(松本市)</p>  | <p>7月27日(土)</p> <p>9:00-17:00<br/>6時間</p> | 教諭   | <p>小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(国語・英語・社会・地理歴史・美術)</p>        | 6,000円 | 50人  |
| 20 | 【選択】身の回りの力学と振動工学                           | <p>力学は、形ある物が存在すれば、力が加わったり運動したりする現象を解明するための原理や考え方を提供する道具であり、物理現象に関する全ての研究の基盤となる学問です。また力学は、形ある物を作ったり設計したりする際、必要不可欠な基礎でもあります。本講習では物理学の中の力学(静力学と動力学)に関して、身近なものや世の中で見かけられるような題材をピックアップし、力学の問題に帰着してごく簡単な解析まで紹介し解説します。振動現象などに関する実験・実演を通して、物理や数学を勉強する意義を実感させるような内容を紹介し、また、理科学習での力学に関する挿話や、力学を学ぶことの位置づけ、内容理解のための実験例などの教材開発に参考になる内容を提供することで、今後の教育に活かしていただくことを目指します。</p>                           | <p>辺見 信彦<br/>(工学系教授)</p> <p>亀山 正樹<br/>(工学系准教授)</p>        | <p>長野(工学)キャンパス<br/>工学部講義室</p> <p>(長野市)</p> | <p>7月28日(日)</p> <p>9:00-17:00<br/>6時間</p> | 教諭   | <p>中学校・高等学校の教諭(理科)</p>                                 | 6,000円 | 50人  |
| 21 | 【選択】アフリカ、森の民のライフサイクルから学ぶ知恵                 | <p>人類は数百万年にわたる歴史において、その99パーセント以上の期間を狩猟採集民として生きてきました。一万年ほど前に農耕や牧畜が始まったことで狩猟採集民の数は減少し、今日では世界で30ほどの民族を残すのみとなっています。しかし、人と自然との共生が強く求められている今日、狩猟採集という生き方の意義はむしろ高まっているといえるでしょう。本講習では、中部アフリカの熱帯雨林地域に暮らす狩猟採集民の生活を、彼らのライフサイクルに着目しながら解説します。特に子供の教育や発達に関わる事柄を、食文化や音楽文化を中心に視聴覚資料を用いて紹介します。私たちとは自然・社会的背景が大きく異なる「森の民」の文化を学ぶことを通じて、私たちの文化を見つめ直すためのヒントを提供します。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>  | <p>分藤 大翼<br/>(総合人間科学系准教授)</p>                             | <p>松本キャンパス<br/>全学教育機構講義室</p> <p>(松本市)</p>  | <p>7月28日(日)</p> <p>9:00-17:00<br/>6時間</p> | 教諭   | <p>幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(社会・音楽・宗教・看護・福祉・環境教育)</p> | 6,000円 | 50人  |
| 22 | 【選択】地球から宇宙の果てまでの最新の宇宙像をみよう～楽しい天文学習の創造に向けて～ | <p>人間と宇宙の関わりや、身の回りにあふれる物質の起源、宇宙の歴史やその構造など、だれでも一度は気になる宇宙の謎について、最新の天文学の成果に基づいて平易に解説します。また、手軽に作れる天体望遠鏡を制作したり、国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクトで開発された天体や天体現象を空間3次元と時間1次元の4次元で可視化したデジタル宇宙シアター・フリーソフト「MITAKA」を実際に動かす演習を通して、子どもたちと一緒に宇宙を「目のあたり」にする楽しい学習展開のあり方を探ります。</p> <p>注1)受講者各自で「MITAKA」の演習を行いますので、windows/パソコンをご持参ください。<br/>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>  | <p>小山 茂喜<br/>(総合人間科学系教授)</p> <p>縣 秀彦<br/>(国立天文台准教授)</p>   | <p>松本キャンパス<br/>全学教育機構講義室</p> <p>(松本市)</p>  | <p>7月28日(日)</p> <p>9:00-17:00<br/>6時間</p> | 教諭   | <p>小学校・中学校・高等学校の教諭(理科・総合・環境教育)</p>                     | 6,000円 | 50人  |



【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                                     | 講習の概要・注意事項  | 担当講師  | 講習会場(開催地)                   | 講習日程                          | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)              | 受講料    | 募集定員 |
|----|---|---|---|-----------------------------|-------------------------------|------|----------------------------|--------|------|
| 23 | 【選択】民法と法律的な考え方                          | 身近な経済生活関係を規律する民法は、刑法や行政法のような法律とは性格が異なり、契約のように、当事者の自由な意思決定によって自らを規律することを基本としています。法律らしくないと思われるかも知れませんが、民法は他の法律よりも歴史が古く、法律家の思考様式は、民法の発展によって形成されてきたといってもよいでしょう。この講習では、民法上の基本的な原則や概念を紹介したうえで、法律的な考え方に基づいて、現実社会にどのように法が適用されているのかを解説します。民法への理解を通じて、法律的な考え方とはどのようなものかを理解してもらいたいと思います。また、法律的な考え方は、西欧的な価値観を前提とした西欧的な思考様式です。法律的な考え方を理解することは、西欧というものをより深く理解することにつながるはずです。なお、この講習では、筆記試験用の筆記用具を準備していただければ十分です(鉛筆、シャープペン可)。   | 池田 秀敏<br>(社会科学系教授)  | 松本キャンパス<br>経法学部講義室<br>(松本市) | 7月29日(月)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 高等学校の教諭<br>(地理歴史・公民)       | 6,000円 | 20人  |
| 24 | 【選択】身近なデジタルカメラの活用で不思議なマイクロ世界の観察をもっと効果的に | 光学顕微鏡で生物細胞を観察する際に、狭い接眼レンズにデジカメやスマホを接続すると、その大きな液晶画面に見やすい画像が得られます。教育現場でデジタル機器類に馴染んでいる学生に難解な生物学を身近に感じさせ、不思議なマイクロ世界をもっと楽しめることを目標とし、実習を展開します。<br>1. 植物細胞の観察 タマネギの表皮細胞標本の作製、観察します。<br>2. 体細胞分裂の観察 ニンニクの根端分裂組織を材料とした体細胞分裂を観察します。<br>3. 血流の動的観察 メダカの尾びれを使って、血流動態をリアルに観察、動画像として記録します。<br>本講習の特徴は、顕微鏡で観察される静止画や動画が、その場でモニターなどに大きく映し出されるため、学生指導に非常に有効な手段であり、教育現場ですぐに実践できます。<br>注1)コンパクトデジカメ(レンズの伸出幅1.5cm以下が対応可能)やスマホをお持ちの方は、持参してください。<br>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。 | 喬 炎<br>(長野県看護大学教授)<br>三浦 大志<br>(長野県看護大学助教)<br>島袋 梢<br>(長野県看護大学助教) | 長野県看護大学<br>(駒ヶ根市)           | 7月29日(月)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(理科) | 6,000円 | 40人  |
| 25 | 【選択】マイクロ経済学入門                           | 高等学校・公民科の政治経済での学習を対象とします。扱うトピックスは、「市場経済の機能と限界」に関係する内容です。経済学的な考え方は、普段の日常的な議論とは、少し異なった視点で物事を捉えるところがあります。そうした考え方の中でも重要となる“機会費用”や“サンクコスト”といった概念について、まず、再確認をします。その上で、需要と供給という市場メカニズムの考え方を整理し、実際の市場取引のデータを用いて、需要曲線が右下がりの形状になることなどを確認します。そして、応用例として、需要曲線の傾きの違いによって、消費税の税率引き上げの影響が異なることなどを示します。講習後半は、経済厚生を考え方を整理して効率性の基準を解説します。それを踏まえて、新規参入を規制することがもたらす問題などを解説します。高校での授業を意識して、できるだけ、現実の事例を用いて理解できるよう、材料を提供していく予定です。   | 広瀬 純夫<br>(社会科学系教授)  | 松本キャンパス<br>経法学部講義室<br>(松本市) | 7月31日(水)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 高等学校の教諭<br>(公民)            | 6,000円 | 50人  |
| 26 | 【選択】歴史館で教材開発(A)                         | 博物館の役割や機能について、ふだん目にする博物館の展示見学だけでなく、バックヤードでの作業や資料の収集等にかかわる体験活動を通して、自分の授業に博物館の持つ教育資源をどのように活用するかを探ります。教科や学校種にとらわれず、博物館を主体的に学習に活用することで、楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。<br>注1)受付は、9:00から行います。<br>注2)撮影可能な資料等写真撮影することもできるので、必要な方はデジカメ等ご持参ください。なお、資料として、歴史館の図録を受講者全員に配布します。<br>注3)収蔵庫、展示室等は文化財保護の観点から、ペン・ボールペンは使用できません。鉛筆もしくはシャープペンシルをご用意ください。<br>注4)「【選択】歴史館で教材開発(B)・(C)」と同じ内容のため、重複して受講できません。<br>注5)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。                                    | 小山 茂喜<br>(総合人間科学系教授)  | 長野県立歴史館<br>(千曲市)            | 7月31日(水)<br>9:20-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・高等学校の教諭<br>(社会・総合) | 6,000円 | 50人  |

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                    | 講習の概要・注意事項   | 担当講師  | 講習会場(開催地)                     | 講習日程                         | 対象職種       | 主な受講対象者領域(参考)  | 受講料    | 募集定員 |
|----|------------------------|--|---|-------------------------------|------------------------------|------------|--|--------|------|
| 27 | 【選択】小・中・高における経済教育の実施方法 | 本講習は講義と演習(グループワーク)で行われます。「経済分野」に関わる概説と中学校での具体的な実践事例に関する講義を行います。担当講師は、小学校(真島)・中学校(田村・高橋)・高等学校(高橋)での教師経験をもとに、具体的な実践事例などをお話いたします。主に午前<br>は田村が、午後は真島と高橋が担当いたします。<br>*講習内容は小学校～高等学校まで幅広くなることをご承知おください。  | 田村 徳至<br>(総合人間科学系准教授)<br>真島 聖子<br>(愛知教育大学教育学部准教授)<br>高橋 勝也<br>(名古屋経済大学法学部准教授) | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>(松本市) | 8月1日(木)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(社会・公民)                                 | 6,000円 | 50人  |
| 28 | 【選択】歴史館で教材開発(B)        | 博物館の役割や機能について、ふだん目にする博物館の展示見学だけでなく、バックヤードでの作業や資料の収集等にかかわる体験活動を通して、自分の授業に博物館の持つ教育資源をどのように活用するかを探ります。教科や学校種にとらわれず、博物館を主体的に学習に活用することで、楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。<br>注1)受付は、9:00から行います。<br>注2)撮影可能な資料等写真撮影することもできるので、必要な方はデジカメ等ご持参ください。<br>なお、資料として、歴史館の図録を受講者全員に配布します。<br>注3)収蔵庫、展示室等は文化財保護の観点から、ペン・ボールペンは使用できません。<br>鉛筆もしくはシャープペンシルをご用意ください。<br>注4)【選択】歴史館で教材開発(A)・(C)と同じ内容のため、重複して受講できません。<br>注5)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。   | 小山 茂喜<br>(総合人間科学系教授)  | 長野県立歴史館<br>(千曲市)              | 8月1日(木)<br>9:20-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(社会・総合)                                 | 6,000円 | 50人  |
| 29 | 【選択】こどもの哲学:哲学対話の理論と実践  | こどもたちは発達段階に応じて、自己の確立や他者との共生、社会的自立に向けて、様々な問題に直面します。また、社会構造の変化に伴い、社会が求める教育の在り方も、従来の暗記や反復学習中心の教育から、自ら考え、他者と共同して問題解決を図る能力の育成に関心が集まりつつあります。<br>2007年にユネスコが『哲学—自由の学校』を出版して以来、こどもの哲学が注目されています。これは、こどもたちが他者との対話を通して、自分で問題を考え、解決する力を養うための教育方法です。道徳教育にも有効です。その対象は幼児から大人までです。とはいえ、哲学なんて難解なものが本当にこどもにできるのだろうか、と疑問をもつ方もいるかも知れません。本講習ではなぜこどもに哲学ができるのかに関する理論編から、実際にどう行うのかという実践編までを扱います。<br>講義では実際に哲学対話を行いますので、受講者には積極的なご発言を期待します。<br>注)昨年度開講した【選択】こどもの哲学:哲学的対話の理論と実践と同じ講習です。<br>認定された方は受講できません。 | 屋良 朝彦<br>(長野県看護大学准教授)   | 長野県看護大学<br>(駒ヶ根市)             | 8月1日(木)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭<br>養護教諭 | 小学校・中学校・<br>高等学校・特別支<br>援学校の教諭(国<br>語・社会・地理歴<br>史・公民)、養護<br>教諭 | 6,000円 | 20人  |
| 30 | 【選択】仏教から自己を考える         | 本講習では、(1)インド仏教のなかで教えられた自己の捉え方、(2)道元が言う「自己を忘れる」の意味、(3)親鸞が説いた悪人としての自己という三項目を扱います。仏教思想では「無我」が語られますが、それが本当はどのような意味をもつのか、日本ではそれがどのように解釈され受容されたのか、はよく知られているわけではありません。『スッタニパータ』『正法眼蔵』『歎異抄』の関連するテキストを具体的に示しながら、受講者のみなさんとともに、仏教が教える自己の捉え方を考え直してみたいと思います。講義形式ではありますが、できるだけ受講者のみなさんとの意見交換をする時間を取り入れる予定です。当日、資料とレジュメはプリントで配布しますので、事前にご購入いただくテキストや持ち物はありません。  | 護山 真也<br>(人文科学系准教授)   | 松本キャンパス<br>人文学部講義室<br>(松本市)   | 8月2日(金)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 高等学校の教諭<br>(倫理)  | 6,000円 | 30人  |



【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名  | 講習の概要・注意事項  | 担当講師   | 講習会場(開催地)                           | 講習日程                         | 対象職種       | 主な受講対象者領域(参考)                                     | 受講料    | 募集定員 |
|----|--|---|--|-------------------------------------|------------------------------|------------|---|--------|------|
| 31 | 【選択】心理学からのクリティカル・シンキング入門                       | <p>クリティカルシンキングとは、雑多な情報にまどわされずに、ものごとを多面的にとらえて、本質を見抜くための論理的な思考です。批判的思考と訳されますが、非難したり否定するという意味の「批判」ではありません。よりよい問題解決のために、自分の思考に無意識の歪みや思い込みがないかを自省的に考えるという意味です。</p> <p>このクリティカルシンキングのエッセンスを、心の働きを科学的にとらえる「認知心理学」をもとに習得し、思考に特有な「くせ」(認知バイアス)を知ること、先入観や直観の誤りを修正して、的確な判断や意志決定を行えるようになります。こうしたスキルは、教科を問わず、さまざまな場面で起こる錯誤・錯覚を修正するだけでなく、情報分析能力を向上させ、「だまされない」思考力を養うことに貢献するものです。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>                                    | 菊池 聡<br>(人文科学系教授)  | 松本キャンパス<br>人文学部講義室<br><br>(松本市)     | 8月3日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 幼稚園・小学校・<br>中学校・高等学校<br>の教諭                       | 6,000円 | 100人 |
| 32 | 【選択】アパレルと健康                                    | <p>ヒトは衣服に包まれて生活していますが、その衣生活を快適にするために、衣服の持つ力を人体の生理学を踏まえて理解できるよう、最新の研究成果、動向等を交えて解説します。また、簡単な実験結果を用いて、ヒトと被服が持つ特性を考えます。これらの結果を家庭科での指導に活用することを目標に、実験・実習の結果も交えて講習します。</p> <p>当日簡単なデータの解析を行いますので、PCを持参してください。また、使用ソフトは簡単な計算にExcelを用い、発表にPower Pointを用いる予定です。講習の最後には学校種の近い参加者同士の班を組み、ディスカッションをしながら、実験データや講義内容等を用いて模擬授業を計画します。その成果をプロジェクター、板書、ポスター等を用いて発表し、参加者が児童・生徒になり質問をします。</p> <p>注)Excel、Word、Power Pointが設定されたPCをお持ちください。</p>                    | 三野 たまき<br>(教育学系教授)   | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br><br>(長野市) | 8月3日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(家庭)                       | 6,000円 | 50人  |
| 33 | 【選択】新学習指導要領から考える国語科教材の可能性—「読む」「書く」と「我が国の言語文化」— | <p>新学習指導要領でも継続となる「言語活動」とおして国語科においてどのような学習活動が実現できるかを中心に講習を行います。</p> <p>①文学教材(近代文学)を題材にして児童生徒が読み深められるような教材研究と指導のポイントを教材に即して講義し、演習を交えて進めます。(2コマ)</p> <p>②「我が国の言語文化」の領域において言語活動とおして学びを深める方法や単元構成を提案して発展的な教材開発を、ワークショップによって開発します。(1コマ)</p> <p>③「書く」ための硬筆指導の在り方や学習活動の基本となる「文字を書くこと」を見直す機会とし、各教科で活用できる内容を講義し、実践します。(1コマ)</p> <p>「言語活動」が国語科でどのように有効性を発揮するのか。また「我が国の言語文化」の活用可能性、さらには重要な要素である「書く」行為の可能性を探ります。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p> | 小林 比出代<br>(教育学系教授)<br><br>友田 義行<br>(教育学系准教授)<br><br>西 一夫<br>(教育学系教授)   | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br><br>(長野市) | 8月3日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 幼稚園・小学校・<br>中学校・高等学<br>校・特別支援学<br>校の教諭(国語・書<br>道) | 6,000円 | 50人  |
| 34 | 【選択】子供の健康管理(歯科指導・心因性疾患や発達障害・感染症)               | <p>学校教育では、子供の健康管理にかかわる教職員の対応で生命を左右することがあります。本講習では、「①小児期における歯及びあごの発育と、同時期に出現する歯科・口腔疾患について」、「②子供の心因性疾患や発達障害について」、「③子どもの感染症」の3点を中心にわかりやすく解説します。</p> <p>注)昨年度、以下の講習を受講された方は、内容が重複しますがご了承ください。<br/>【選択】子供の健康管理(感染症・心因性疾患や発達障害・歯科指導)</p>  | 栗田 浩<br>(医学系教授)<br><br>新美 妙美<br>(医学部医学科特任助教)<br><br>原 洋祐<br>(医学部医学科助教) | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br><br>(松本市)   | 8月3日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭<br>養護教諭 | 幼稚園・小学校・<br>中学校・高等学<br>校・特別支援学<br>校の教諭、養護教<br>諭   | 6,000円 | 50人  |

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                               | 講習の概要・注意事項  | 担当講師  | 講習会場(開催地)                      | 講習日程                         | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)                           | 受講料    | 募集定員 |
|----|-----------------------------------|---|---|--------------------------------|------------------------------|------|---|--------|------|
| 35 | 【選択】エネルギーを創る・貯める(環境・エネルギー教育の視点から) | 私たちの生活に接点を持つ環境・エネルギーについて、「エネルギーを創る・貯める」をテーマに、最先端研究の話題も含めてわかりやすく解説します。具体的には、快適な生活を支えるために欠かせない自動車や電化製品に使われている蓄電池や、一般家庭にも普及するようになった太陽電池など、エネルギーを創って貯めるための仕組みと、その作り方・性質などの基礎的事項について、平易な表現を用いて解説します。また、新エネルギー開発についての事例も紹介し、エネルギー問題、環境問題についても考えます。エネルギーを創って貯める電池の様々な性質に加えて、それが使われる背景などの幅広い知識を得ることで、環境・エネルギー教育の意義や面白さをより強く感じていただくことをねらいとしています。講習内容を活かして、児童・生徒が科学的にものごとを考える学習展開を創造していただくことを期待しています。     | 錦織 広昌<br>(工学系教授)<br>是津 信行<br>(工学系教授)                      | 長野(工学)キャンパス<br>工学部講義室<br>(長野市) | 8月3日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(環境教育)           | 6,000円 | 50人  |
| 36 | 【選択】外国人から見た日本                     | 東京オリンピックの開催が決定されたことをきっかけに、日本の国際性を高めようという動きが活発になってきています。また、外国から日本への関心が高まっていることに伴い、外国の観光客や定住者が増え続けています。その影響もあり、日本の学校に通う外国籍の子供たちも増えています。しかし、日本国内では、外国人への理解がまだ不足しています。本講習では、外国人である講師が、日本に対する外国人の印象や外国との違いを紹介し、外国人への理解を深めてもらい、学校教育で活用していただくことをねらいとしています。<br>そのため、本講習は講義だけでなく、講習内容についてグループ学習として議論してもらい、それぞれのグループで議論の成果をプレゼンしてもらいます。<br><br>注1)筆記用具と別にメモ用紙をお持ちください。<br>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。 | アサノ デービッド<br>(工学系教授)                                      | 長野(工学)キャンパス<br>工学部講義室<br>(長野市) | 8月3日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(社会・英語)          | 6,000円 | 50人  |
| 37 | 【選択】持続可能な水の管理と利用(環境教育の視点から)       | 本講習では、自然と技術、社会と技術の関わりについて考えていただくために、「河川及び水資源」「くらしと水」「膜分離技術」の3テーマで、生命の維持と人々の暮らしに不可欠であり、有限な資源でもある水の管理と利用技術について解説します。<br>まず、河川及び水資源の科学的評価結果と利用に関する課題について、治水や環境も含め、世界各地の事例を紹介します。続いて、それらの事例をどのように教材化するかについて、受講者全員で討議します。次に、モンスーンアジアやアフリカの生活用水を例に、地層や地形と地下水の流動、自然由来の大規模な水質汚染の実態とその可視化事例を解説します。最後に、水の再生利用に欠かせない膜分離技術について、最先端の研究結果とともに、その原理を化学の視点より平易に説明します。本講習の内容を環境教育の視点から、教材化していただけることを期待しています。     | 吉谷 純一<br>(工学系教授)<br>中屋 眞司<br>(工学系教授)<br>竹内 健司<br>(工学系准教授) | 長野(工学)キャンパス<br>工学部講義室<br>(長野市) | 8月3日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(理科・工業・環境<br>教育) | 6,000円 | 50人  |



【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                                | 講習の概要・注意事項  | 担当講師  | 講習会場(開催地)                                   | 講習日程                                       | 対象職種               | 主な受講対象者領域(参考)  | 受講料    | 募集定員 |
|----|------------------------------------|---|---|---|--|--------------------|--|--------|------|
| 38 | 【選択】具体的実演と解説でよくわかる高分子科学の今と未来       | <p>本講習は、私たちの生活で幅広く利用されている高分子と超分子について、作り方から機能と応用、最新技術動向までを理解し、高分子が切り開く安心安全で豊かな社会について知っていただくために、4つのテーマで構成されています。</p> <p>①「高分子をつくる」・高分子合成の実演を通して高分子合成を学びます。また、最新合成法で実現されたこれまでにない奇妙な高分子についても解説し、合成高分子の未来を展望します。</p> <p>②「高分子を強くする」・高分子から繊維を作り、強くする実演を通して、高分子独特の性質について学びます。強くなった高分子が私たちの安全に貢献している例から高分子材料の有用性を学びます。</p> <p>③「高分子デバイス」・最先端の高分子を使った発光デバイスを実演し、高分子材料を使った未来型デバイスを解説します。</p> <p>④「超分子の世界」・低分子が集まって作る超分子を紹介し、身近な応用例の実演を通して、最先端超分子科学に触れます。</p>                  | <p>高坂 泰弘<br/>(繊維学系准教授)</p> <p>後藤 康夫<br/>(繊維学系教授)</p> <p>市川 結<br/>(繊維学系教授)</p> <p>鈴木 正浩<br/>(繊維学系教授)</p>                 | <p>上田キャンパス<br/>繊維学部講義室<br/><br/>(上田市)</p>   | <p>8月3日(土)<br/><br/>9:00-17:00<br/>6時間</p> | 教諭                 | <p>小学校・中学校・<br/>高等学校の教諭<br/>(理科・技術・工業)</p>                 | 6,000円 | 50人  |
| 39 | 【選択】英作文を教える                        | <p>英作文の指導は、母語話者でなければ現実には難しいものです。しかし英作文は英語の実力が端的に表れるため、単語レベルでの読解から脱却する機会となり得ますので、とても有効な教育素材であることも確かです。そこで、本講習では、英作文という素材の【日本語話者である教員ならではの使い方】を提案します。講習では、学生の実際のエラーを素材にして、①辞書にある「訳語」は「意味」とは別物であること、②学習指導書・文法解説書等にある文法事項の背後にある原理原則、③日本語話者であるという理由で起こるエラーの背景(例えば「認める」の守備範囲がadmitよりはるかに広いため、be foundであるべきところでadmitを使ってしまう等)、の三つを探っていく、という作業をご一緒にしていきたいと思えます。</p> <p>注1)講習は、グループに分かれて演習形式で行います。<br/>注2)普段使っている辞書や文法解説書等を持参してください。<br/>注3)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p> | <p>加藤 鉦三<br/>(総合人間科学系教授)</p>  | <p>松本キャンパス<br/>全学教育機構講義室<br/><br/>(松本市)</p> | <p>8月4日(日)<br/><br/>9:00-17:00<br/>6時間</p> | 教諭                 | <p>中学校・高等学校<br/>の教諭(英語)</p>                                | 6,000円 | 50人  |
| 40 | 【選択】子供の健康管理(てんかん発作・性に関する指導・小児救急医療) | <p>学校教育では、子供の健康管理にかかわる教職員の対応で生命を左右することがあります。本講習では、「①てんかん発作」、「②性に関する指導」、「③小児救急医療」の3点を中心にわかりやすく解説します。</p> <p>注)昨年度、以下の講習を受講された方は、内容が重複しますがご了承ください。<br/>【選択】子供の健康管理(性教育・てんかん発作・小児救急医療)</p>   | <p>福山 哲広<br/>(医学部医学科講師<br/>・医学部附属病院<br/>てんかん外来医師)</p> <p>坂口 けさみ<br/>(元信州大学教授)</p> <p>三代澤 幸秀<br/>(医学部附属病院小児科<br/>助教)</p> | <p>松本キャンパス<br/>医学部講義室<br/><br/>(松本市)</p>    | <p>8月6日(火)<br/><br/>9:00-17:00<br/>6時間</p> | <p>教諭<br/>養護教諭</p> | <p>幼稚園・小学校・<br/>中学校・高等学<br/>校・特別支援学<br/>校の教諭、養護<br/>教諭</p> | 6,000円 | 50人  |
| 41 | 【選択】租税政策論(経済学の視点から)                | <p>今日、国の財政再建が経済・社会的な課題として重要性を高めつつある中、税制のあり方についても見直しが求められています。本講習では経済理論の基礎を概観した上で、税制のあり方を検討するにあたって重要な視点となる「税の転嫁と帰着」「課税の効果」「課税のコスト」などの視点を紹介しながら、望ましい税制に向けた考え方を提供します。講習ではパワーポイント資料を(プロジェクターを用いた)投影および配付しますが、あわせて板書も行いますのでノート等の持参を推奨します。</p>  | <p>大野 太郎<br/>(社会科学系准教授)</p>   | <p>松本キャンパス<br/>経法学部講義室<br/><br/>(松本市)</p>   | <p>8月7日(水)<br/><br/>9:00-17:00<br/>6時間</p> | 教諭                 | <p>小学校・中学校・<br/>高等学校の教諭<br/>(社会・公民)</p>                    | 6,000円 | 50人  |

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

【開催中止】

| 項番 | 講習名                                 | 講習の概要・注意事項  | 担当講師              | 講習会場(開催地)                         | 講習日程                             | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)          | 受講料    | 募集定員 |
|----|-------------------------------------|---|-------------------|-----------------------------------|----------------------------------|------|------------------------|--------|------|
| 42 | 【選択】アカマツの成長をエクセルで解析してみよう(科学実験と統計解析) | 生物学を含め、科学実験では統計解析は不可欠です。この講習ではエクセル(表計算ソフト)を用いた生物学演習の例を紹介し、この講習では、アカマツの年輪試料を用いて、アカマツの成長の気象条件(気温、降水量、日射量)との関係を調べます。エクセルではいくつかの関数を用いて、簡単な統計解析を行います。<br>講習では、まず演習の説明をした後に、実験室で試料の年輪幅の測定を行います。測定後、PC実習室に移動し、データの入力・整理・解析を行います。<br>解説資料、演習で用いる試料、測定器具、パソコン等はすべてこちらで用意します。<br><br>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。   | 高橋 耕一<br>(理学系教授)  | 松本キャンパス<br>理学部講義室<br><br>(松本市)    | 8月7日(水)<br><br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 中学校・高等学校<br>の教諭(理科)    | 6,000円 | 20人  |
| 43 | 【選択】生物群集をエクセルとRで解析する                | マクロ生物学では、主に生態学の分野で植物や動物の群集を扱います。しかしながら、化学における実験のような、実体験をとおしてその内容を生徒に授ける機会は少ないと言えます。と同時に、教員が生物群集のデータを野外でどのように収集し、パーソナル・コンピュータで解析するのかを学ぶ機会も、大学卒業後は極めて限られています。20年前、30年前に比べればパーソナル・コンピュータそれ自体に加え、ソフトウェアの発展は急激に進み、かつては解析が困難であったようなことも、PC上で解析ができるようになりました。こうしたことから、この授業ではデモ的に野外でデータを集め、こちらで用意したデータを用いて、エクセルや統計解析ソフトRを使い、様々な解析を試み、あるいはデータの解釈を行う授業を試みます。<br><br>注)エクセル(または互換ソフト)の入ったノートPCに、統計解析ソフトRとRstudio(無料)を入れてお持ちください。 | 島野 光司<br>(理学系准教授) | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br><br>(松本市) | 8月7日(水)<br><br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 中学校・高等学校<br>の教諭(理科)    | 6,000円 | 50人  |
| 44 | 【選択】中学校高等学校の数学から現代数学へ               | 数学はとすれば無味乾燥な学問と思われがちですが、実際には様々な人々により長い年月をかけて形作られた文化です。しかしながら、中学校や高等学校の教育現場では、文化としての数学よりも計算や思考のトレーニングとしての数学という面が強調されているのが現実です。この講習では、日本の中学校および高等学校で学ぶ数学の主要な内容について、いつ頃どのように発見されたかについて説明し、その後それらが現代数学にどのように繋がっていったかを解説します。これにより、中学校と高等学校の数学の歴史的な位置付けを理解してもらうことが目的です。更に、数学とは何かを考える機会になることを期待しています。<br><br>必要な持ち物は、筆記用具のみです。中学校および高等学校で数学を教えている方を想定していますが、そうでない方でも受講していただいて構いません。  | 玉木 大<br>(理学系教授)   | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br><br>(松本市) | 8月7日(水)<br><br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 中学校・高等学校<br>の教諭(数学)    | 6,000円 | 50人  |
| 45 | 【選択】無機化学(錯体に焦点を当て)                  | 無機化学の根幹をなす化合物のひとつである錯体に焦点を当て、遷移金属元素が示す特異な性質がd電子によるものであることを、量子論の基礎・対称性と群論の関係および化学との関連・原子価結合法による錯体の化学結合の記述・結晶場理論による錯体の諸性質の理解・分子軌道法による錯体の化学結合と諸性質の総合理解といったテーマで解説します。本講習を通して、授業で、典型元素と遷移金属元素の違いや遷移金属元素の特徴などを、生徒の実態に応じて伝えることができるようになることを目指します。<br><br>注)持ち物:特別なものは必要ありませんが、講義中に課す演習問題を解くためにマス目が入ったノートを持参されることをお勧めします。  | 大木 寛<br>(理学系教授)   | 松本キャンパス<br>理学部講義室<br><br>(松本市)    | 8月7日(水)<br><br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 中学校・高等学校<br>の教諭(理科・化学) | 6,000円 | 50人  |



【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                          | 講習の概要・注意事項   | 担当講師   | 講習会場(開催地)                       | 講習日程                         | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)                                 | 受講料    | 募集定員 |
|----|------------------------------|--|--|---------------------------------|------------------------------|------|---|--------|------|
| 46 | 【選択】動物資源生命科学                 | 本講習では、学术交流や地域連携などの場で活躍する動物に関する分野で、学術領域の異なる3名(専門:動物解剖組織学、動物生殖学、食品機能学)が、日常生活で農学と深く関連している事柄を専門的な視点(形と機能の関係から生命現象を説明・生殖細胞を用いて生命現象に切り込むアニマルバイオテクノロジー・培養細胞の様々な応答を手がかりにした新規機能性食材研究)から解説を試みます。本講習により、実践的・応用的な視点も求められる農学の基礎知識を身につけ、理科教育や農業教育に活かしていただくことがねらいです。  | 平松 浩二<br>(農学系教授)<br>高木 優二<br>(農学系准教授)<br>河原 岳志<br>(農学系准教授) | 伊那キャンパス<br>農学部講義室<br>(上伊那郡南箕輪村) | 8月7日(水)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・<br>高等学校・特別支<br>援学校の教諭(理<br>科・農業)     | 6,000円 | 50人  |
| 47 | 【選択】たかが新聞されど新聞<br>～NIE入門～(A) | 学習指導要領では、「新聞」を活用した授業づくりが提案されています。新聞のもつ役割や機能を信濃毎日新聞社の記者の体験談や信濃毎日新聞社の見学等体験的な活動を通して知るとともに、新聞を活用した授業実践を具体的に学ぶことを通して、日常の授業実践での新聞の活用方法を探ります。教科や学校種にとらわれず、NIEに興味のある先生、新聞を「ねた」に楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。<br>注1)テキスト等かなりの量の資料を受講者全員に配布しますので、お持ち帰り用の袋等あらかじめご用意ください。<br>注2)会場には駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください。<br>注3)「【選択】たかが新聞されど新聞～NIE入門～(B)・(C)」と同じ内容のため、重複して受講できません。<br>注4)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。                           | 小山 茂喜<br>(総合人間科学系教授)                                       | 信濃毎日新聞社<br>(長野市)                | 8月7日(水)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(国語・社会・地理<br>歴史・公民・総合) | 6,000円 | 50人  |
| 48 | 【選択】社会の変容と家族・家族法             | 家族の理想像や現実の家族のあり方は、国家の目指す方向、経済環境、個人の持つ価値観、など社会の様々な影響によって変容します。家族を規律する法制度も個々の法域の持つ価値観の影響を受けて変容します。時として現実の家族と家族法の目指す方向が一致しなくなり、対応を迫られることもあります。江戸期～明治維新・戦時期～戦後期といった長いスパンで概観しても勿論、ここ10～20年の期間で考えても、家族観の多様化を受けて新たに対応が求められる様々な問題が生起しています。例えば、同性同士の婚姻を認めるべきか、代理母出産によって生まれた子の親は誰か、結婚して何十年も経って配偶者と死別した場合と数年で死別した場合とで配偶者相続分は同じでいいのか、などです。これらのトピックを通し、家族観の多様化の現状と課題を受講者と共有し、このことにより必ず家族の一員である児童・生徒の日々の生活の見守りに生かすことができます。<br>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。 | 宗村 和広<br>(社会科学系教授)   | 松本キャンパス<br>経法学部講義室<br>(松本市)     | 8月8日(木)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(社会・公民)                | 6,000円 | 50人  |
| 49 | 【選択】宇宙の成り立ち                  | 宇宙が膨張しているというハッブルの発見から約100年がたち、アインシュタインですら間違っていたと思った彼の理論がよみがえりつつあります。これらの知見を支える実験や観測の進展はすさまじく、私たちの宇宙に対する理解を変化させて来ています。このようなダイナミックな宇宙像を、最近の実験とその成果を元に解説します。特に基本原理である、光とその速さの普遍性を実験で示し、そこから導かれる種々の現象をふまえて解説します。また宇宙の中に普遍的に存在する放射線と呼ばれる粒子に言及し、その測定実験などをふまえてより広く深い理解を目指します。138億年前にビッグバンで始まった宇宙の始まりと、現在と、将来についても概観します。<br>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。   | 竹下 徹<br>(理学系教授)  | 松本キャンパス<br>理学部講義室<br>(松本市)      | 8月8日(木)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校の<br>教諭(理科)                            | 6,000円 | 40人  |

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                                | 講習の概要・注意事項   | 担当講師  | 講習会場(開催地)                              | 講習日程                         | 対象職種       | 主な受講対象者領域(参考)  | 受講料    | 募集定員 |
|----|------------------------------------|--|---|--|------------------------------|------------|--|--------|------|
| 50 | 【選択】食と植物の文化論(信州の食文化を事例に)           | 農産物の利用、つまり「食」は、私たちの生活文化と密接なつながりを持っています。地域で昔から受け継がれてきた伝統野菜と食べ方は、その地域の食文化とともに育まれてきました。また、近代農業の中で作り出されてきた改良品種も時代のニーズの中から生まれてきたものです。本講習では、食と植物と人間との密接な文化的関わりについて、信州での事例を中心に解説します。  | 伴野 潔<br>(農学系教授)<br>松島 憲一<br>(農学系准教授)<br>濱渦 康範<br>(農学系准教授)<br>根本 和洋<br>(農学系助教) | 伊那キャンパス<br>農学部講義室<br>(上伊那郡南箕輪村)        | 8月8日(木)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 幼稚園・小学校・<br>中学校・高等学校・<br>特別支援学校の<br>教諭(農業・理科)                  | 6,000円 | 65人  |
| 51 | 【選択】キャンプ・登山やスキーにおけるインクルーシブ教育の実践(B) | 昨今、インクルーシブ教育システムの構築が求められています。特に、野外におけるインクルーシブな学習は、障害のある子どもが参加することでしか生まれない貴重な学びの機会となっており、専門的な知識や機材を持つ専門家と連携することでその効果をさらに高めることができます。本講習では、一般社団法人野外教育研究所の上席研究員・技術指導官をお招きし、野外におけるインクルーシブ教育実践校の事例から、多様なニーズのある子どもたちへの配慮について考えます。また、アウトドア用車いすやデュアルスキー(着座式スキー)の体験を通して、実現可能な野外でのインクルーシブ教育プラン作りを行います。<br>注1)本講習では、講義及び実習を行います。実習では、アウトドア用車いすの試乗や操作をしていただきます。体育館履き、運動靴のご準備、動きやすい服装でのご参加をお願いします。更衣室の用意もごさいます。<br>注2)「【選択】キャンプ・登山やスキーにおけるインクルーシブ教育の実践(A)」と同じ内容のため、重複して受講できません。<br>注3)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。 | 加藤 彩乃<br>(総合人間科学系助教)  | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>及び体育館<br>(松本市) | 8月8日(木)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭<br>養護教諭 | 幼稚園・小学校・<br>中学校・高等学校・<br>特別支援学校の<br>教諭(特別支<br>援・保健体育)、養<br>護教諭 | 6,000円 | 30人  |
| 52 | 【選択】はじめてのファシリテーション(話し合い活動の活発化のために) | 自由討議やグループ討議は授業や特別活動(学級活動等)でよく用いられます。本講習は主に、生徒が主体的かつ対話的に学ぶ方法の一つとして、ファシリテーションの知見を活用した話し合いの仕方を学びます。また、様々な会議等で付箋紙を効果的に使用し、課題解決を図る手法をゲストティーチャーをお招きし、グループで体験しながら身に付けます。<br>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。  | 田村 徳至<br>(総合人間科学系准教授)   | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>(松本市)          | 8月8日(木)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 幼稚園・小学校・<br>中学校・高等学校<br>の教諭                                    | 6,000円 | 50人  |
| 53 | 【選択】磁石と磁界の科学                       | 本講習では、磁石や電流(電磁石)がつくる磁界に関する基本的な性質をまとめ、磁石や電磁石がどのように生活の中に利用されているかについての理解を深め、理科の授業での指導に活用できることを目標にします。講義は演示実験を交えながら行います。また、電磁石に関連して、マイナス200℃以下で超伝導体(電気抵抗がゼロになる物質)に変わるような材料を使ってつくられる強力な超伝導電磁石や磁性粒子を液体に分散させた磁性流体なども紹介します。<br>主な受講対象者は中学・高等学校の理科担当の教員を中心に設定していますが、受入れに余裕がある場合には、小学校の理科について指導の充実を図ろうとする、意欲のある小学校教員等も受講できます。  | 天谷 健一<br>(教育学系教授)   | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市)        | 8月9日(金)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭         | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(理科)                                    | 6,000円 | 20人  |



【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                         | 講習の概要・注意事項  | 担当講師  | 講習会場(開催地)                       | 講習日程                         | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)                       | 受講料    | 募集定員 |
|----|-----------------------------|---|---|---------------------------------|------------------------------|------|-------------------------------------|--------|------|
| 54 | 【選択】整数の応用～暗号の作成と解読～         | 最近高校で導入された整数の性質を利用して、普段メールやインターネットで何気なく使っている暗号の仕組みを理解することを目標とします。前半では最も簡単な暗号である、シーザー暗号を理解します。後半では現在最も良く使われている、公開鍵暗号を理解します。そのために必要な整数の性質や合同式の解説から始め、暗号の作成・解読を参加者同士で行っていきます。<br>講習の構成は以下のとおりです。<br>1. シーザー暗号(暗号のための整数論)<br>2. シーザー暗号(暗号の仕組み)<br>3. シーザー暗号(暗号の作成と解読)<br>4. 公開鍵暗号(暗号のための整数論)<br>5. 公開鍵暗号(暗号の仕組み)<br>6. 公開鍵暗号(暗号の作成と解読)  | 松澤 泰道<br>(教育学系助教)<br>鈴木 章斗<br>(工学系准教授)<br>大野 博道<br>(工学系准教授) | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市) | 8月9日(金)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・高等学校の教諭<br>(算数・数学・技術・情報・工業) | 6,000円 | 50人  |
| 55 | 【選択】自ら進んで楽しく学べるプログラミング授業の設計 | 次期学習指導要領においてプログラミング教育が必修化されます。先生方の中には、不安に思う方もいらっしゃると思います。でも、心配いりません。本講習を受講すれば、子どもが自ら進んで楽しく学べるプログラミングの授業ができるようになります。初心者でも大丈夫。<br>本当にそんなことができるのか？プログラミング言語Scratchならできます。マウスクリックで簡単に扱うことができます。プログラムに初めて触れる子どもでも簡単。それでいて、単なるおもちゃではなく、ゲームだって作れます。本格的なプログラミングへの入り口にもなります。<br>本講習の主な内容は、プログラミング言語Scratchの体験、プログラミング教育導入の社会的・教育学的背景の解説、受講者同士のディスカッションです。<br><br>注1)パソコンは貸し出します。普段使いのパソコンがあれば、お持ちいただいても結構です。ネット環境と電源はこちらで準備します。<br>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。 | 島田 英昭<br>(教育学系准教授)<br>森下 孟<br>(教育学系准教授)                     | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市) | 8月9日(金)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校の教諭                          | 6,000円 | 40人  |
| 56 | 【選択】憲法の重要判例を読む              | 日本国憲法の条文を読んだことがある方は多いと思います。しかし、「憲法判例」を読んだことのある方はそれほど多くないのではないのでしょうか。本講習では、重要な憲法判例をいくつか取り上げることによって、憲法的な思考方法に触れて頂くことを目的とします。憲法判例を読んで日本国憲法が実際にどのように機能しているかを知ることが、社会に対する視野を広げることにつながると思います。<br>本講習では、具体的には、重要な憲法判例の特に重要な部分を一緒に読んでいきます。法律の専門用語については必要に応じて講習中に解説します。一緒に読む判例と関連する条文などについては配布する予定ですので、筆記用具以外の持ち物は必要ありません。   | 赤川 理<br>(社会科学系准教授)  | 松本キャンパス<br>経法学部講義室<br>(松本市)     | 8月9日(金)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(社会)          | 6,000円 | 50人  |
| 57 | 【選択】地球史から学ぶ自然災害への備え         | 理科における地学分野は、私達の生活の基盤となっている大地、すなわち地球の仕組みや成り立ちを学ぶことを目的の1つとしています。地球のたどってきた変動の記録、すなわち地球史の知識と理解は、私達が今後経験する可能性のある様々な自然災害に対応するために必要です。この講習では46億年の地球の歴史を概観して、生物活動と地球環境との関係を学びます。さらに、過去200万年間におこった気候変動と海水準変動の研究から、地球環境が劇的に変動してきたことを解説します。また、千曲川の洪水を記録した堆積物や東日本大震災の際の津波堆積物の研究例から、地層に残された過去の災害記録を知ることの重要性をお話します。あわせて、大学近くの河川地形の観察、河川の砂の観察など川の運搬、堆積作用についての教材化についての実習も予定しています。<br><br>注)昨年度も開講した講習です。「【選択】地球から学ぶ自然災害への備え」を認定された方は受講できません。                              | 保柳 康一<br>(理学系教授)  | 松本キャンパス<br>理学部講義室<br>(松本市)      | 8月9日(金)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・高等学校の教諭(理科)                 | 6,000円 | 50人  |

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                               | 講習の概要・注意事項   | 担当講師   | 講習会場(開催地)  | 講習日程                                   | 対象職種               | 主な受講対象者領域(参考)   | 受講料    | 募集定員 |
|----|-----------------------------------|--|--|--|--|--------------------|---|--------|------|
| 58 | 【選択】子供の健康管理(作業療法・アレルギー・生活習慣病・性教育) | <p>教職員として知っておいていただきたい子供の健康管理について、「①学校教育における作業療法の現状と問題について」、「②アレルギー疾患について」、「③青少年の生活習慣病予防について」、「④性に関する指導を適切に行うため、月経のメカニズムや性感染症の基本知識について」の4点を中心に、基本的知識と対応等についてわかりやすく解説します。</p> <p>注)昨年度、以下の講習を受講された方は、内容が重複しますがご了承ください。<br/>【選択】学校における保健指導・健康教育(性教育・生活習慣病・アレルギー・作業療法)</p>   | <p>赤羽 美和<br/>(保健学系助教)</p> <p>重村 倫成<br/>(医学系講師)</p> <p>日高 宏哉<br/>(保健学系准教授)</p> <p>金井 誠<br/>(保健学系教授)</p> | <p>松本キャンパス<br/>全学教育機構講義室<br/>(松本市)</p>           | <p>8月9日(金)<br/>9:00-17:00<br/>6時間</p>  | <p>教諭<br/>養護教諭</p> | <p>幼稚園・小学校・<br/>中学校・高等学校<br/>・特別支援学校の<br/>教諭、養護教諭</p>             | 6,000円 | 50人  |
| 59 | 【選択】体育科目に応用できる感覚と運動の科学-理論と実践-     | <p>身体運動は、複雑な運動制御メカニズムによって成り立っています。特に、「巧みな」からだの動かし方には、どれだけ正確に運動を調節できるかだけでなく、どれだけ身体状況を知覚しているかが重要な役割を担っています。そこで本講習では、身体状況の知覚としての運動感覚に関する理論を学び、指導場面で実践可能な運動内容を実践します。実践内容は、単純な運動を組み合わせた運動課題を用い、「考えながら動く」ことに主眼を置きます。最終的には、教師各人がオリジナリティを持った運動内容を考案し、その理論的背景を伝えながら授業を展開できることを目的とします。</p> <p>注1)理論は講義室、実践は体育館で行います。運動できる服装、上履き、タオルや飲み物を準備してください。着替えは更衣室を用意します。なお、最初から運動ができる格好でお越しいただいても問題ありません。<br/>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>   | <p>速水 達也<br/>(総合人間科学系准教授)</p>  | <p>松本キャンパス<br/>全学教育機構講義室<br/>及び体育館<br/>(松本市)</p> | <p>8月9日(金)<br/>9:00-17:00<br/>6時間</p>  | <p>教諭</p>          | <p>幼稚園・小学校・<br/>中学校・高等学校<br/>の教諭(保健体育)</p>                        | 6,000円 | 30人  |
| 60 | 【選択】たかが新聞されど新聞～NIE入門～(B)          | <p>学習指導要領では、「新聞」を活用した授業づくりが提案されています。新聞のもつ役割や機能を信濃毎日新聞社の記者の体験談や信濃毎日新聞社の見学等体験的な活動を通して知るとともに、新聞を活用した授業実践を具体的に学ぶことを通して、日常の授業実践での新聞の活用方法を探ります。教科や学校種にとらわれず、NIEに興味のある先生、新聞を「ねた」に楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。</p> <p>注1)テキスト等かなりの量の資料を受講者全員に配布しますので、お持ち帰り用の袋等あらかじめご用意ください。<br/>注2)会場には駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください。<br/>注3)「【選択】たかが新聞されど新聞～NIE入門～(A)・(C)」と同じ内容のため、重複して受講できません。<br/>注4)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>                                     | <p>小山 茂喜<br/>(総合人間科学系教授)</p>   | <p>信濃毎日新聞社<br/>(長野市)</p>                         | <p>8月9日(金)<br/>9:00-17:00<br/>6時間</p>  | <p>教諭</p>          | <p>小学校・中学校・<br/>高等学校の教諭<br/>(国語・社会・地理<br/>歴史・公民・総合)</p>           | 6,000円 | 50人  |
| 61 | 【選択】プログラミング的思考力を育む環境と教材を体験し考察する   | <p>2020年度から小学校段階でプログラミング教育が必修になり、小学校から高等学校の期間でコンピュータに係る学習をすることになります。本講習では、まず全員にコンピュータ教育として過去に行われていたBASIC言語のプログラミングを体験してもらいます。次に、命令を使ったゲーム、タンジブルと言われる実物のロボットをボタン操作や駒並べなどで動かす知育教材、ブロック型プログラミング環境やテキスト型プログラミング環境でのロボット動作プログラムの異なるプログラミング環境のいずれかを体験してもらいます。また、算数の文章問題やパズルのような課題の解き方を論理的プログラミング的に思考する、Excelを用いたコンピュータシミュレーションの具体例を体験してもらいます。以上のような体験実習を行い、グループ討議を交えて、プログラミング的思考力を育む教育内容、コンピュータ教育の内容を考えます。</p> <p>注)Windows版ノートパソコンを使用しますのでご持参ください。持参できない場合は、事前にご相談ください。</p> | <p>西 正明<br/>(教育学系教授)</p> <p>佐藤 運海<br/>(教育学系教授)</p> <p>川久保 英樹<br/>(教育学系准教授)</p>                         | <p>長野(教育)キャンパス<br/>教育学部講義室<br/>(長野市)</p>         | <p>8月10日(土)<br/>9:00-17:00<br/>6時間</p> | <p>教諭</p>          | <p>幼稚園・小学校・<br/>中学校・高等学校<br/>の教諭(算数・数学<br/>・理科・技術・情報<br/>・工業)</p> | 6,000円 | 35人  |



【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                                | 講習の概要・注意事項   | 担当講師  | 講習会場(開催地)                              | 講習日程                          | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)                      | 受講料    | 募集定員 |
|----|------------------------------------|--|---|--|-------------------------------|------|------------------------------------|--------|------|
| 62 | 【選択】『博士の愛した数式』(小川洋子著)の中の数学を見てみよう!  | <p>小説の中の博士は数(整数論)の専門家ですが、事故により80分しか記憶を維持することができません。事故以前の記憶はあり、数に対して鋭い感性を持っています。私たちが日頃より慣れ親しんできた数(自然数)、特に小説の中に出てきた素数、完全数等の話題を中心に、それらのもつ性質を家政婦さん、ルート(家政婦の息子)と一緒に見ていきましょう。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>  | 高野 嘉寿彦<br>(総合人間科学系教授)                             | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>(松本市)          | 8月10日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・高等学校の教諭(数学)                | 6,000円 | 50人  |
| 63 | 【選択】気になる子どもの指導と支援～運動や感覚の問題を中心に～    | <p>教室の中には、障害の有無だけでなく、何となく気になる子どもが多くいます。本講習では、気になる子ども、日常教室などで学習を進めるときに何らかの配慮が必要な子どもについての理解を深め、具体的な指導や支援の方法を考えます。本講習では、子供の感覚や運動の発達を踏まえ、言語やコミュニケーションの問題がどのように発生するかを考え、論理的思考につながる言語活動の工夫について考えます。また、運動にかかわる問題について、個々の評価の方法、運動遊びや体育における指導上の工夫等を例示し、個々の運動能力をいかに伸ばすか、共に楽しんで参加できる活動について考えます。午後の講習は、体育館で実技を交えて実施する予定です。</p> <p>注1)上履きを持参し、服装等にもご注意ください。<br/>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>   | 庄司 和史<br>(総合人間科学系教授)<br>加藤 彩乃<br>(総合人間科学系助教)      | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>及び体育館<br>(松本市) | 8月17日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(特別支援)   | 6,000円 | 50人  |
| 64 | 【選択】天然物が開く創薬                       | <p>本講習では、天然物の医薬品利用について解説します。2019年は世界初の抗生物質ペニシリンが実験的に発見されてから、ちょうど90年になります。さらにノーベル賞受賞に繋がったエバームクチンの発見など、天然物は医薬品の開発に深く関わっています。そこで、天然物が医薬品として研究、開発されるまでの経緯と現状について取り上げます。優れた医薬品の開発には、作用機序に基づく化学的な理解と解明が不可欠であり、中学生・高校生が化学を通じて医薬品と生物のしくみを理解するための話題を提供します。</p>  | 大神田 淳子<br>(農学系教授)<br>筒井 歩<br>(農学系助教)              | 伊那キャンパス<br>農学部講義室<br>(上伊那郡南箕輪村)        | 8月24日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 中学校・高等学校の教諭(理科)                    | 6,000円 | 50人  |
| 65 | 【選択】ピーターラビットと英語から英国を見る             | <p>ピーターラビットの作者、ビアトリクス・ポターの生涯をたどりながら、当時と現代の英国社会を概観し、時代と作者の投げかける現代的意味を考察します。また、物語の一部を英語と日本語で味わいながら、その英語の特徴などにも言及します。さらに、物語の主な舞台であり、作者が愛してやまなかった湖水地方(The Lake District)の魅力と共に、当時の英国や現代のロンドンも紹介します。講師の撮影した写真や視聴覚教材も使用しながら、テーマを多角的に掘り下げます。英語については講師がていねいに解説しますので、中学校程度の英語力でも英語に興味があれば受講が可能です。以上の内容や活動を通じて、学校教育活動に生かして結び付けるヒントを探ります。資料は当日、配付しますので、筆記用具を持参してください。</p>   | 近藤 富英<br>(関西外国語大学外国語学部教授)<br>小山 茂喜<br>(総合人間科学系教授) | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>(松本市)          | 8月24日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭                | 6,000円 | 60人  |
| 66 | 【選択】総合的な学習に活用したい『身近な無線通信のしくみ・トレンド』 | <p>Wi-FiやLTEなど無線通信に関する専門用語が愛称として定着するほど無線通信はとても身近な存在になっています。パソコンやスマートフォンを使って外出先でも高速に安定して情報をやり取りしたいというニーズだけでなく、離れた場所の「温度や湿度など状態を知りたい」「照明やエアコンなど機械を操作したい」といった「モノとの通信」に対するニーズも年々高まってきています。普段から何気なく便利に使っている無線通信技術の進歩については、数学的なものの見方・考え方や科学的なもの見方・考え方が必要不可欠です。そこで、本講習では、電波時計やWi-Fi、LTE、IoT(Internet of Things:モノのインターネット)といった身近な無線通信のしくみやトレンドから、算数・数学・理科などの学習内容をとらえなおすことで、「モノと通信」をテーマとした総合的な学習の充実の在り方を探っていきます。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p> | 笹森 文仁<br>(工学系教授)                                  | 長野(工学)キャンパス<br>工学部講義室<br>(長野市)         | 8月25日(日)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・高等学校の教諭(算数・数学・理科・技術・情報・工業) | 6,000円 | 50人  |

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                         | 講習の概要・注意事項   | 担当講師                                  | 講習会場(開催地)                       | 講習日程                          | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)              | 受講料    | 募集定員 |
|----|-----------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|------|----------------------------|--------|------|
| 67 | 【選択】森林を活用した効果的な土砂災害抑制方法を考える | 近年、深層崩壊をはじめとして、これまで経験したことのない巨大な土砂移動現象が各地で発生し、私たちの生活を脅かすようになってきました。特に、大規模地震や大規模豪雨が全国各地で頻発するようになり、これに伴って移動する土砂の量が莫大であるがゆえに、もはや人工構造物だけでは対処しきれなくなっているというのが現状です。本講習では、森林の有する多面的機能の内、土砂災害抑制機能についてプラス面とマイナス面の両側面から解説します。そして、森林の土砂災害抑制効果について正しく理解した上で、構造物だけに頼ることなく身近にある森林を有効に活用し、土砂災害にめげずに賢く生き残っていくための方法について考えたいと思います。   | 平松 晋也<br>(農学系教授)<br>福山 泰治郎<br>(農学系助教) | 伊那キャンパス<br>農学部講義室<br>(上伊那郡南箕輪村) | 8月25日(日)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 中学校・高等学校の教諭(理科)            | 6,000円 | 50人  |
| 68 | 【選択】人工知能ってすごいんですか           | 2015年にシンクタンクにより公表された「10年後に消える仕事」により、私たちが担う現在の仕事の多くへと、人工知能の発達によって将来性の消える不安が投げかけられました。実際に消える可能性の大きな仕事もあるでしょうし、そうでない仕事もあるでしょう。10年とは小学校高学年生が大学卒業までの期間に過ぎません。本講習は(1)人工知能技術の社会への適用の広がる現状を理解するための講義および意見交換の実施、(2)機械学習などの人工知能開発を進める中核技術の一部をコンピュータ利用しない実習を通じて体験する、の2点から構成されます。以上を通じて、人工知能技術のもたらす特質へのより正しい理解を目指します。<br><br>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。          | 鈴木 治郎<br>(総合人間科学系教授)                  | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>(松本市)   | 8月31日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭 | 6,000円 | 50人  |
| 69 | 【選択】アクティブ・ラーニングのテクニック入門     | この講習では、教員からの一方向的な講義形式ではないアクティブ・ラーニングを実際に経験していただきます。先生方に実際にアクティブ・ラーニングの効果を感じていただきますが、同時に課題や問題点についても皆で発見しながら、議論をしたいと考えています。従いまして、前日はしっかりとお休みになり、元気に参加していただければと思います。予習する必要はありません。対象は、小学校、中学校、高等学校の教諭とします。<br><br>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。   | 加藤 善子<br>(総合人間科学系准教授)                 | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>(松本市)   | 8月31日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・高等学校の教諭            | 6,000円 | 30人  |
| 70 | 【選択】ジェンダーと教育                | この講習では、無意識に教育されるジェンダー観から男女をめぐる法律や労働環境まで概観し、教育場面でジェンダーがどのように作られ、ジェンダーによってどのように人生が異なったものになっていくのか、冷静に分析していきます。近年、学校において「男子問題」が注目されるようになり、学校の成績では女子が男子を圧倒するも、管理職に到達する女性はいまだに僅かで、女性の生涯賃金は圧倒的に低いまです。皆で経験や意見を交換しながら、先生方自身がジェンダー規範から少しだけ自由になり、そして児童・生徒の人生の選択が広がるような教育の可能性を探っていきたいと思います。基本的な分析概念からご説明しますので、特に予習をする必要はありません。<br><br>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。 | 加藤 善子<br>(総合人間科学系准教授)                 | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>(松本市)   | 9月1日(日)<br>9:00-17:00<br>6時間  | 教諭   | 小学校・中学校・高等学校の教諭            | 6,000円 | 30人  |
| 71 | 【選択】音楽教育の過去・現在・未来           | 本講習では、音楽教育について、その「過去」「現在」「未来」という3つの扉から眺めます。「過去」では、音楽教育の起源について古代ギリシアの思想を訪ねたり、日本における明治期・大正期・昭和期の授業を辿ったりします。「現在」では、学習指導要領の変遷を把握した上で新学習指導要領に示された内容を眺めたり、子どもたちを取り囲む社会や音楽文化の急速な変化を見つめたりします。「未来」では、未来の授業の方向性やその在り方について探ります。最終的に「過去」「現在」「未来」という時代を越えて流れ続ける不変的なものは何か、時代とともに進化し発展していくものは何かについて受講者と共に探ります。<br>本講習は講義のみではなく、新奇性のある表現活動や音楽鑑賞等の演習を取り入れる予定です。           | 齊藤 忠彦<br>(教育学系教授)                     | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市) | 9月7日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間  | 教諭   | 幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の教諭(音楽)  | 6,000円 | 28人  |



【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                                | 講習の概要・注意事項   | 担当講師                 | 講習会場(開催地)                       | 講習日程                          | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)                    | 受講料    | 募集定員 |
|----|------------------------------------|--|----------------------|---------------------------------|-------------------------------|------|----------------------------------|--------|------|
| 72 | 【選択】剣道の歴史と文化的特性について—剣術伝書と日本の運動学習論— | <p>本講習では、近年の研究成果に基づき、剣道の歴史的・技術的な変遷とその文化的特性について明らかにするとともに、武術伝書類の講読を通じて日本的な運動学習論について理解を深めることを目標とします。また、そのような歴史的、文化的な理解を踏まえながら、体育授業での剣道指導におけるより良い教材化の方向についても考えていきます。主な受講対象者としては中学校・高等学校の保健体育科担当教員を想定しています。</p> <p>講義内容の概略</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 武道に関する用語の整理(武道・武芸・武術・兵法・剣術等)</li> <li>2. 剣術史概略(剣術の発生と流派の出現・型稽古と竹刀打込稽古・他流試合の活性化と剣術の技術的变化)</li> <li>3. 剣道の文化的特性(対人性と演技性・技の完結性・一本の価値基準と残心・礼法等)</li> <li>4. 我が国の代表的な剣術伝書(兵法家伝書・五輪書・不動智神妙録・免兵法之記・猫の妙術他)と日本の運動学習論</li> <li>5. 剣道の教材化の問題点と方向性</li> </ol> | 和田 哲也<br>(教育学系教授)    | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市) | 9月7日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間  | 教諭   | 中学校・高等学校の教諭(保健体育)                | 6,000円 | 50人  |
| 73 | 【選択】コミュニケーションの障害とインクルーシブ教育(A)      | <p>障害のある子供も障害のない子供も一緒に学ぶインクルーシブ教育は、教育全体の課題です。すべての子供にとって、一緒に学ぶ経験は、かけがえのないものとなります。本講習では、このようなインクルーシブ教育の意義を確認することをねらい、子供のコミュニケーションの障害に焦点を当てます。まず、コミュニケーションの障害に関する基本的な事柄として、乳児期初期からの人間関係の発達や言語の発達を中心に学習し、問題が発生するメカニズムを解説します。また、いくつかの疑似体験を実施し、グループディスカッションなどで感想や気づきを交流し、理解を深めます。これらを通して、コミュニケーションの問題は、障害のある子供の問題という視点でとらえるだけでなく、双方の問題だという視点からとらえ直し、改善するための環境調整など具体的方策について参加者と共に考えたいと思います。</p> <p>注)「【選択】コミュニケーションの障害とインクルーシブ教育(B)」と同じ内容のため、重複して受講できません。</p>   | 庄司 和史<br>(総合人間科学系教授) | 長野県<br>総合教育センター<br>(塩尻市)        | 9月7日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間  | 教諭   | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(特別支援) | 6,000円 | 50人  |
| 74 | 【選択】家庭科衣生活の教材研究                    | <p>本講習は、家庭科衣生活領域の研究成果や動向等について理解し、衣生活の自立に関わる指導に活用できることを目標にします。</p> <p>幼稚園・小学校・中学校・高等学校家庭科の衣生活領域を着用・手入れ・製作の3つの領域に分け、それぞれの教材研究において必要な背景の基礎的理解を促すために、その概要を解説するとともに、具体的な教材のアイデア等を中心に解説を行う予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①衣生活の着衣選択や着脱に関する教材研究の背景となる基礎的内容及びその指導のポイントを紹介します。</li> <li>②衣生活の着衣やインテリア製品の手入れや保管に関する教材研究の背景となる基礎的内容及びその指導のポイントを紹介します。</li> <li>③衣生活の着衣やインテリア製品の修繕、生活を彩る手縫いによる小物製作、染色に関する教材研究の背景となる基礎的内容及びその指導のポイントについて紹介します。</li> </ol> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>                    | 福田 典子<br>(教育学系准教授)   | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市) | 9月28日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭(家庭)   | 6,000円 | 30人  |

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日（火）～2019年5月8日（水）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。

「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名  | 講習の概要・注意事項   | 担当講師             | 講習会場(開催地)                           | 講習日程                              | 対象職種 | 主な受講対象者領域(参考)                                     | 受講料    | 募集定員 |
|----|--|--|------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|------|---|--------|------|
| 75 | 【選択】新学習指導要領での国語科学習教材の活用―「主体的・対話的で深い学び」の実現のために― | <p>小学校・中学校・高等学校の新学習指導要領の方向性が見えてきました。新たな学習指導要領で求められる学力観に基づく国語授業の方向性を見据えながら、具体的な教材で授業を見直し、さらには「主体的・対話的で深い学び」で求められる学習はどのようなものであるかを中心に講習を行います。</p> <p>①新学習指導要領の姿:「資質・能力」に基づく学習指導要領を概観し、現行の指導要領との違いや新たな要素について、小中さらには高等学校への系統性を中心に講義します。(1コマ)</p> <p>②教材研究:従来の教材を基に新たな学習指導要領での学習指導を系統的に見とおして教材研究を行います。ワークショップ形式で実施。(2コマ)</p> <p>③校種交流:校種を越えて、それぞれの教材研究についての情報交換を行います。それを受けて教材研究の見直し。(1コマ)</p> <p>講習全体をとおして、アクティブ・ラーニングの観点から教材研究を見直すこととします。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p> | 西 一夫<br>(教育学系教授) | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br><br>(長野市) | 9月28日(土)<br><br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 幼稚園・小学校・<br>中学校・高等学<br>校・特別支援学校<br>の教諭(国語・書<br>道) | 6,000円 | 50人  |



【講習実施月】 11、12月

【募集期間】 2019年8月27日（火）～2019年9月3日（火）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                              | 講習の概要・注意事項  | 担当講師                                   | 講習会場(開催地)                       | 講習日程                          | 対象職種               | 主な受講対象者<br>領域(参考)                                      | 受講料    | 募集定員 |
|----|----------------------------------|---|--|---------------------------------|-------------------------------|--------------------|--|--------|------|
| 76 | 【選択】野外での地質観察法                    | <p>地学をはじめとする理科関連の授業において必要な、野外での岩石の鑑定能力を身につけるとともに、地層を観察する時の着眼点や記載の方法などを学びます。まず室内での解説を行い、次いで、バスを利用して野外での観察・実習を行います。大地の成り立ちを明らかにする第一歩である野外観察を体験し、教育現場で役立つ知識とスキルを習得します。</p> <p>室内で90分間、以下の内容の講義を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩石の分類と鑑定のポイント・訪れる地点の地質の概要と記録の取り方・評価の方法</li> <li>次にバスを利用して野外で以下の観察・実習を行います。</li> <li>・犀川生坂ダム付近での岩石の肉眼観察による鑑定。</li> <li>・同地点での地層(新第三系)の構造(層理・葉理・級化構造・底痕)と断層の観察。</li> </ul> <p>最後に教室に戻り、観察事項のまとめを行います。</p> <p>注1) 野外での行動に適した靴・帽子・服装、雨具をご用意ください。<br/>注2) 交通事情によっては終了時間が17時を超えることが予想されます。<br/>注3) 実習に必要な器具類は講師が用意します。<br/>注4) 昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p> | 大塚 勉<br>(総合人間科学系教授)                    | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br>(松本市)   | 11月2日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭                 | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(理科・地学)                         | 6,000円 | 23人  |
| 77 | 【選択】教科書記述と経済学の関係                 | <p>小学校・中学校の社会科、高等学校の地理歴史科・公民科の教科書や実践例、また2020年度以降の学習指導要領などから、背景にある経済学の理論を抽出・紹介することで、教材研究を進める手掛かりを探ります。公民分野や経済関係の内容以外でも経済学の知見は意外に活用できると思います(例: 地理の産業学習、歴史上の政策など)。</p> <p>グループ・ディスカッションも挟みながら、小・中・高の各内容(小中高の比重及び具体的内容は、受講者に応じて調整)と経済学の関係についての考え方を紹介・検討し、最後に試験を実施します。</p> <p>→各自で御利用の社会科・地理歴史科・公民科の教科書・資料集などあれば、1冊程度でも持参して頂くと有用かと思えます。また、それら教科・科目に関する2020年度以降の学習指導要領及びその解説が見られるようにしておくのも良いかもしれません(紙媒体でなくても、タブレットなどで見られる状態でも)。</p>   | 藤崎 聖也<br>(教育学系准教授)                     | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市) | 11月4日(月)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭                 | 幼稚園・小学校・<br>中学校・高等学<br>校・特別支援学<br>校の教諭(社会・<br>地理歴史・公民) | 6,000円 | 50人  |
| 78 | 【選択】小規模校・少人数学級のユニークな教育実践をデザインしよう | <p>本講習は、少子・人口減少社会にともなって小規模校化する学校教育の在り方を、既存の価値観や従来の慣習にとらわれずに、20年後の地域と学校を考えながら実践的に考えていく講習です。</p> <p>社会に開かれた教育課程づくりについて、小規模校の条件を生かしたカリキュラム・マネジメントはどのように構想すべきか? 少人数学級において「主体的・対話的で深い学び」を実現するのはどのような実践イメージになるのか? …具体的に学びたい受講者を歓迎します。</p> <p>講習では、フィンランドやオランダ、ニュージーランドなど教育刷新を実行した教育先進国の事例も紹介するとともに、日本国内のユニークな教育を展開している実践校の事例にもヒントを得て、子ども一人ひとりが自律的に学ぶ力を身につける教育を考え合う構成となります。</p>  | 伏木 久始<br>(教育学系教授)<br>宮島 新<br>(教育学系准教授) | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市) | 11月4日(月)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭<br>養護教諭<br>栄養教諭 | 全教員  | 6,000円 | 40人  |
| 79 | 【選択】子どもたちの発想と構想を支援する図画工作科の在り方    | <p>図画工作科は、子どもたちが発想や構想をすることを大切にしています。しかし、発想や構想に関わる現場の先生方からは、「アイデアが出せない子どもに対してどのように指導すれば良いのか」「自由な発想や構想を認めることと、評価を行うことは両立するのか。そもそも評価は可能なのか」といった声が聞かれます。新学習指導要領では、学力の三観点に基づいて内容と記述の整理がなされました。</p> <p>本講習では、新学習指導要領について、図画工作科における「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」に関わる事項の連関に注目しながら理解を深め、子どもたちの「発想・構想」を促す図画工作科の在り方がわかることを目指します。</p> <p>受講対象者は図画工作科の指導に不安がある小学校教員を想定しています。校種、専門に限らず美術教育に関心のある教員の受入れも可能です。講習では講義の他に、簡単な造形活動を体験します。</p> <p>注1) 汚れても良い服装で参加してください。<br/>注2) 昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>  | 大島 賢一<br>(教育学系助教)                      | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市) | 11月9日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭                 | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(美術)                            | 6,000円 | 50人  |

【講習実施月】 11、12月

【募集期間】 2019年8月27日（火）～2019年9月3日（火）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                   | 講習の概要・注意事項   | 担当講師                 | 講習会場(開催地)                         | 講習日程                               | 対象職種 | 主な受講対象者<br>領域(参考)              | 受講料    | 募集定員 |
|----|-----------------------|--|----------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------|--------------------------------|--------|------|
| 80 | 【選択】中国の教育—学力とゆとりの狭間で— | 日本の教育は「個性」、「平等」を重視するのに対し、中国の教育は「学力」を重視する特徴があると言われ、中国の子供たちは小さい頃から熾烈な競争にさらされています。そこで、本講習では、「なぜこのような競争社会が形成されたのか」「どのような問題が引き起こされたか」「中国において「学力」と「ゆとり」が両立できるのか」といった問題を、中国教育の歴史、構造などの視点から解説すると同時に、中国の教育と日本の教育の比較を通して、日本の教育の現状と問題点を考えます。<br><br>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。  | 李 敏<br>(総合人間科学系講師)   | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br><br>(松本市) | 11月16日(土)<br><br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校の<br>教諭(社会)             | 6,000円 | 50人  |
| 81 | 【選択】シュタイナー教育から学ぼう!    | ドイツ発のシュタイナー教育は、今年、その学校が100周年を迎えることもあり、再び注目を集めています。一般には「芸術や自然素材を大事にする教育」というイメージで語られるシュタイナー教育ですが、その背後には、どのような人間の捉え方があるのでしょうか。本講習では、シュタイナー教育の発達観や教育方法などの基本的な事柄について、映像や体験活動、グループワーク等を通して学びます。また、その内容を受講者自身の実践につなぎ、日々の教育活動へのヒントを得ることを目指します。   | 河野 桃子<br>(総合人間科学系講師) | 松本キャンパス<br>全学教育機構講義室<br><br>(松本市) | 11月16日(土)<br><br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 幼稚園・小学校・<br>中学校・特別支援<br>学校の教諭  | 6,000円 | 50人  |
| 82 | 【選択】歴史館で教材開発(C)       | 博物館の役割や機能について、ふだん目にする博物館の展示見学だけでなく、バックヤードでの作業や資料の収集等にかかわる体験活動を通して、自分の授業に博物館の持つ教育資源をどのように活用するかを探ります。教科や学校種にとらわれず、博物館を主体的に学習に活用することで、楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。<br><br>注1)受付は、9:00から行います。<br>注2)撮影可能な資料等写真撮影することもできるので、必要な方はデジカメ等ご持参ください。なお、資料として、歴史館の図録を受講者全員に配布します。<br>注3)収蔵庫、展示室等は文化財保護の観点から、ペン・ボールペンは使用できません。鉛筆もしくはシャープペンシルをご用意ください。<br>注4)「【選択】歴史館で教材開発(A)・(B)」と同じ内容のため、重複して受講できません。<br>注5)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。             | 小山 茂喜<br>(総合人間科学系教授) | 長野県立歴史館<br><br>(千曲市)              | 11月16日(土)<br><br>9:20-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(社会・総合) | 6,000円 | 50人  |
| 83 | 【選択】実習と解説で学ぶタンパク質の科学  | 生命科学に関する本講習では、特に生体を構成し生命活動を担う最も重要な生体分子であるタンパク質に焦点を当て、基礎知識や身近な話題から、ノーベル賞につながるような先端的な研究まで、いくつか例を挙げて解説致します。基礎科学の学習の際に、それがどのように先端的な生命科学研究とつながっているのか、その関連性や将来展望を理解することで、生徒の学習のモチベーションをあげることができると考えられます。また、実習として緑色蛍光タンパク質(GFP)の変性と再生の実験やPCを用いた立体構造表示を行う予定です。<br><br>講義内容<br>①生命科学及びタンパク質の基礎<br>②身近な生活に関わるタンパク質<br>③ノーベル賞につながったタンパク質研究<br>④先端的なタンパク質研究<br>実習内容(予定)<br>①タンパク質の変性と再生:緑色蛍光タンパク質(GFP)を例に<br>②PCを用いたタンパク質の立体構造表示(もし可能であればノートPCを御持参下さい) | 新井 亮一<br>(繊維学系准教授)   | 上田キャンパス<br>繊維学部講義室<br><br>(上田市)   | 11月23日(土)<br><br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 中学校・高等学校<br>の教諭(理科)            | 6,000円 | 50人  |



【講習実施月】 11、12月

【募集期間】 2019年8月27日（火）～2019年9月3日（火）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                           | 講習の概要・注意事項  | 担当講師                 | 講習会場(開催地)                       | 講習日程                           | 対象職種 | 主な受講対象者<br>領域(参考)                             | 受講料    | 募集定員 |
|----|-------------------------------|---|----------------------|---------------------------------|--------------------------------|------|---|--------|------|
| 84 | 【選択】コミュニケーションの障害とインクルーシブ教育(B) | <p>障害のある子供も障害のない子供も一緒に学ぶインクルーシブ教育は、教育全体の課題です。すべての子供にとって、一緒に学ぶ経験は、かけがえのないものとなります。本講習では、このようなインクルーシブ教育の意義を確認することをねらい、子供のコミュニケーションの障害に焦点を当てます。まず、コミュニケーションの障害に関する基本的な事柄として、乳児期初期からの人間関係の発達や言語の発達を中心に学習し、問題が発生するメカニズムを解説します。また、いくつかの疑似体験を実施し、グループディスカッションなどで感想や気づきを交流し、理解を深めます。これらを通して、コミュニケーションの問題は、障害のある子供の問題という視点でとらえるだけでなく、双方の問題だという視点からとらえ直し、改善するための環境調整など具体的方策について参加者と共に考えたいと思います。</p> <p>注)「【選択】コミュニケーションの障害とインクルーシブ教育(A)」と同じ内容のため、重複して受講できません。</p>  | 庄司 和史<br>(総合人間科学系教授) | 松本キャンパス<br>理学部講義室<br>(松本市)      | 11月23日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 幼稚園・小学校・<br>中学校・高等学校・<br>特別支援学校の<br>教諭(特別支援)  | 6,000円 | 50人  |
| 85 | 【選択】「戦争と平和」から20世紀を学ぶ          | <p>本講習では、戦争と平和の時代である20世紀の歴史について理解を深めることを目指します。主な内容は、第1次世界大戦、第2次世界大戦、冷戦のそれぞれに関する原因、経過、結果について概説します。果たして20世紀はどんな時代だったのか。まず第1に、20世紀は「戦争と革命の世紀」であった。また20世紀は「イデオロギーの世紀」であった。さらに20世紀が「アメリカの世紀」であったことも確かである。以上の特徴を踏まえて、世界の歴史としての20世紀を概観します。</p> <p>主な受講対象者は社会・公民に関する指導の充実を図ろうとする教員、また関連領域の教科を担当する教員を中心に想定しています。教科指導にとらわれず、国際政治に関心のある教員の受入れも可能です。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>  | 駒村 哲<br>(教育学系准教授)    | 長野(教育)キャンパス<br>教育学部講義室<br>(長野市) | 11月30日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 中学校・高等学校の<br>教諭(社会・地理<br>歴史・公民)               | 6,000円 | 50人  |
| 86 | 【選択】たかが新聞されど新聞～NIE入門～(C)      | <p>NIE(Newspaper In Education:教育に新聞を)は1930年代にアメリカで始まり、日本では1980年代から日本新聞協会を中心に展開されている教育運動です。現在の学習指導要領でも「新聞」を活用した授業づくりが提案されています。長野県でもNIE推進協議会を中心に新聞を活用する教育があり、様々な教材やノウハウが蓄積されています。本講習は信濃毎日新聞社と連携して、新聞社のスタッフによる講義・演習を含みます。新聞の役割や機能を記者の体験談や新聞社の見学等、体験的な活動をとおして知るとともに、新聞を活用した授業実践を具体的に学ぶことをとおして、日常の授業実践での新聞の活用の方法を探ります。教科や学校種にとらわれず、NIEに興味のある先生、新聞を「ねた」に楽しい授業を展開しようという意欲のある先生を対象とします。</p> <p>注1)テキスト等かなりの量の資料を受講者全員に配付しますので、お持ち帰り用の袋等あらかじめご用意ください。<br/>注2)会場には駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください。<br/>注3)「【選択】たかが新聞されど新聞～NIE入門～(A)・(B)」と同じ内容のため、重複して受講できません。<br/>注4)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p> | 松本 康<br>(教育学系教授)     | 信濃毎日新聞社<br>(長野市)                | 11月30日(土)<br>9:00-17:00<br>6時間 | 教諭   | 小学校・中学校・<br>高等学校の教諭<br>(国語・社会・地理<br>歴史・公民・総合) | 6,000円 | 50人  |

【講習実施月】 11、12月

【募集期間】 2019年8月27日（火）～2019年9月3日（火）

注意)「対象職種」は必ず更新する免許状に応じた講習を受講してください。  
「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

| 項番 | 講習名                               | 講習の概要・注意事項   | 担当講師  | 講習会場(開催地)                                   | 講習日程   | 対象職種 | 主な受講対象者<br>領域(参考)                                  | 受講料    | 募集定員 |
|----|-----------------------------------|--|---|---|--|------|--|--------|------|
| 87 | 【選択】生物に学ぶものづくり～ダンゴムシから最先端ロボットまで～  | <p>本講習では、生物の機能を学び、その知識をものづくりに生かす研究の入門的内容を紹介し<br/>ます。「生物の機能を学ぶ」では、ダンゴムシをとりあげ、その柔軟な環境適応能力について学び<br/>ます。「ものづくりに生かす その1」では、外傷を受けた脳の神経細胞や毛細血管の状態を正確に<br/>測り、損傷の程度や仕組みを推し量る技術の開発を通し、新たな診断法や創薬を目指す研究を<br/>紹介します。「ものづくりに生かす その2」では、動物の尻尾のような、硬さや振る舞いを変えるこ<br/>とで多彩な機能を発揮する生物の線形状器官をヒントにし、新しいロボットの開発を目指す研究<br/>を紹介します。「ものづくりにいかす その3」では、モーターの代わりに筋肉を取り込むことで、電<br/>気や化石燃料を必要とせず、また、生体の持つ自己組織化・自己修復機能を備えたバイオハイ<br/>ブリッドロボットの研究開発を紹介します。</p> <p>注)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p> | <p>中橋 浩康<br/>(繊維学系准教授)</p> <p>岩本 憲泰<br/>(繊維学系助教)</p> <p>森山 徹<br/>(繊維学系准教授)</p> <p>秋山 佳丈<br/>(繊維学系准教授)</p> | <p>上田キャンパス<br/>繊維学部講義室<br/><br/>(上田市)</p>   | <p>11月30日(土)<br/><br/>9:00-17:00<br/>6時間</p> | 教諭   | <p>小学校・中学校・<br/>高等学校の教諭<br/>(理科・技術・情<br/>報・工業)</p> | 6,000円 | 50人  |
| 88 | 【選択】消費者教育にどう取り組むか～はじめての消費者教育～(B)  | <p>「かしこい」消費者を育成するという視点から、さまざまな教育活動における消費者教育の在り<br/>方を探ります。まず、消費者問題に関心を持っていただくことを目的として、具体的な教育活動に<br/>ついて経済教育を専門とする田村が、シミュレーションゲームなどの体験活動を通して、指導方<br/>法・教材開発について提案します。その後、行政書士兼ファイナンシャルプランナーとして様々な<br/>消費者トラブルについて相談・解決を担当している方をゲストティーチャーとしてお招きし、現在の<br/>悪質商法の手口や対処法を具体的な事例をもとにお話いたします。</p> <p>注1)【選択】消費者教育にどう取り組むか～はじめての消費者教育～(A)」と同じ内容の<br/>ため、重複して受講できません。<br/>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>  | <p>田村 徳至<br/>(総合人間科学系准教授)</p>   | <p>松本キャンパス<br/>全学教育機構講義室<br/><br/>(松本市)</p> | <p>11月30日(土)<br/><br/>9:00-17:00<br/>6時間</p> | 教諭   | <p>小学校・中学校・<br/>高等学校の教諭</p>                        | 6,000円 | 50人  |
| 89 | 【選択】社会を生き抜く力を育てる～はじめての金融・経済教育～(B) | <p>田村(教育学者 金融・消費者教育)が、学校における金融教育、経済教育の必要性など理論<br/>的な解説を丁寧に行ったうえで、教育現場で役立つ効果的な教育方法・教材開発を考察します。<br/>午前中は主に、金融教育・経済教育に関する理論的な内容を解説します。午後は、ゲストティー<br/>チャーから小・中・高等学校用に開発されたシミュレーション教材をもとにグループワーク(演習)<br/>を行うことで実際の授業方法を体得することを目指します。</p> <p>注1)【選択】社会を生き抜く力を育てる～はじめての金融・経済教育～(A)」と同じ内容の<br/>ため、重複して受講できません。<br/>注2)昨年度も開講した講習です。認定された方は受講できません。</p>   | <p>田村 徳至<br/>(総合人間科学系准教授)</p>   | <p>松本キャンパス<br/>理学部講義室<br/><br/>(松本市)</p>    | <p>12月7日(土)<br/><br/>9:00-17:00<br/>6時間</p>  | 教諭   | <p>小学校・中学校・<br/>高等学校の教諭</p>                        | 6,000円 | 50人  |

・内容については文部科学省申請中です。  
・担当する講師の所属、職名等は変更になる場合があります。